

入会案内書 2021

幼児コース

年少・年中・年長

Z会
の通信教育



「あと伸び力」を、
いま身につける。



Z会幼児コースは、開講10周年!



いま大切にしたいのは、 先取りよりも「あと伸び力」

創立以来90年の長きにわたり、

Z会がこれまで人の学びに携わってきた結果、わかったこと。

それは、自身の可能性を伸ばし、未来を切り拓いていくためには、
幼児期における学びの「質」がとても重要である、ということです。

机の前に座って、受け身のまま知識を詰め込むだけでは、
学びの「質」は上がりません。

幼児期に大切なのは、何に対しても「なぜ?」「どうして?」と疑問をもち、
自分なりに答えを見つけようとする姿勢。

そして考えることそのものを、おもしろがることです。

わたしたちZ会は、それらを「あと伸び力」とよんでいます。

人の学びは一生涯続いていくもの。

幼児のお子さまは学びのスタートラインに立ったところです。

今、主体的に学びに向かう姿勢、「あと伸び力」を
身につけていくことが、未来の学びの扉を開く

原動力となるのです。

幼児期の学びを親子で楽しみ、充実したものに。

大学生を見ていて気づくのは、優秀な学生、伸びる学生というのは皆“おもしろがり”だということです。教師が「これはおもしろいよ」とヒントを少し与えると、彼らは興味のアンテナを伸ばし、自分で調べ、考え、試してみることをおもしろがります。多少困難なことがあってもそれすら“おもしろがる”姿勢は、社会人になってからも、希望を実現したり、課題を克服したりするのに不可欠な力ではないでしょうか。

この姿勢は、一朝一夕に身につくものではなく、その萌芽は、幼児期にあると私は考えます。幼児の日常生活には、多くの学びの機会があります。たとえば、かるたの枚数を比べることは、数の学習につながっています。そうした体験の中から、習得すべき知識を体系化したものが、算数という教科。つまり、小学校以降の学習というものも、体験の中身を“教科”という体系に沿って整理整頓していく作業のことなのです。その作業の原動力となるのが、「自分が体験したことは、こういう仕組みだったのか!」「ではこうしたらどうなるだろう?」とおもしろがりながら、体験と知識をつなげていくこと。だからこそ、幼児期の今、必要なのは、学ぶことを楽しいと感じる経験で、Z会の教材は、まさにその経験を積むのに最適な「素材」です。



Z会幼児コース 総合監修者
武蔵野大学 副学長・教育学部長
上岡 学 (うえおか まなぶ)

東京学芸大学大学院教育学研究科
修士課程修了。学校心理士。専門は
教育方法学で、特別活動、算数教
育、総合学習、生活科などを研究。
現職の前は、桐朋学園小学校にて
21年間教諭を務める。Z会小学コ
ース1・2年生の監修・執筆にも携わる。

葉っぱの先は
なんととがっているの?



Z会 幼児コースは10周年



2010年にZ会幼児コースは産声を上げました。
それから10年。

実体験とワーク学習の両輪で幼児期のお子さまの興味関心を引き出し、能動的に学ぶことで、自ら楽しんで学ぶ姿勢—あと伸び力—を育む理念は開講当時と変わりません。
一方で、より取り組みやすくするために、また時代に合わせた新しい学びを取り入れるために、大小の改良を積み重ねてここに至ります。

揺らがないものと進化していくもの。将来効いてくる学びと今実感できる学び。
どちらも大切にしながら、未来に向かう幼児期のお子さまに最適な教材をこれからもお届けしてまいります。

1期生の先輩親子からの声

Z会幼児コースを受講してよかったこと

幼 児コース年長を受講しようと思ったのは、既製のおもちゃに頼らないこと、自ら何かを作ったり、考えたりしながら、その体験を表現することが、学びの原点としてよいのではないかと考えたためです。また、Z会の教材は難しいというイメージがありますが、年長から始めておけばスムーズに馴染めるのではないかという思いもありました。
幼児コースの教材には、子ども自身が興味をもち、親子ともに焦らず楽しめるよう、じっくり取り組んでいました。また、体験したことをそれだけで終わりにせず、絵にして振り返ることがよい学びになっていました。
今、振り返って幼児コースから受講してよかったと思うのは「学習のベース」が作れたこと。提出課題は年長のころから今まで一度も期限に遅れることなく、自分ですべて投函していました。Z会の教材を期限を守って毎月提出するベースができていたので、中学校に上がっても授業進度に左右されず自分で学習を進めていけましたし、受験期も自分のペースで焦らず勉強し続けられたのだと思います。親としても安心して見守ることができました。

お母さま



1期生 H・S さん

- 2010年 Z会幼児コース年長 入会
小学生コース
高校受験コース
(現・中学生テキストコース)
 - 2020年 国際基督教大学高等学校 合格
- のべ10年!

幼 児コースでは、『べあぜっと』の課題を母と一緒にやったり、『かんがえるちからワーク』や提出課題の『べあぜっとシート』に取り組みのを見守ってもらったりしました。一緒に料理したことがよい思い出になっています。

H・Sさん



開講当時の教材です。

実体験とワーク学習の両輪で 「あと伸び力」を育む

ことば・数などの学力の基礎から、知的好奇心を引き出す体験、生活習慣など、幼児期にふれたい5つの領域を実体験とワーク学習の両輪で網羅したのがZ会幼児コース。発達段階にあった課題で「できた!」の自信を育み、遊びをとおして学ぶ上質な体験で、「学び」そのものの楽しさを喚起します。



幅広い領域を両輪で学ぶ

両輪の学びが導く、 「あと伸び力」が生まれる瞬間

実体験だけではない、ワーク学習だけでもない、
双方でバランスよく得られる幼児期の経験が、将来大きく花開く「あと伸び」の力になります。

夢中になって取り組むから
いろいろな発見ができる



身近な物を使うから
興味がわく

実体験



五感を使って
体験するから、
好奇心が
どんどん広がる



絵やことばで伝えるから
考えを表現する力がつく



自分でできた!
学びへの自信になる



幅広い領域にふれるから
学力の土台が築ける

ワーク学習

自分なりの答えを導くから
「考える力」が伸びる



年少、年中、年長から 小学生、その先へ。 幼児期の今培う「あと伸び力」が、 無限の未来をひらきます。

3年後、10年後、

その先の未来に

大きな木が育つように



自らが「学び」を作り未来を切り拓く人に

今の時代に求められているのは、
どれだけたくさん知っているかではなく、
どれだけ深く理解して知識を活用できるか、自ら考えることができるか。
何にでも興味をもてる幼児期だからこそ、
机上の学習だけで知識を詰め込むのはもったいない。
実体験をととして学びへの意欲や好奇心を刺激し、
「学びに向かう姿勢」を身につけてほしいと思います。
「学び」とは、人から与えられるだけでなく、自分から作り出せるものです。
生涯にわたって「できないことができるって楽しい」
「わからないことがわかるっておもしろい」と
思えるように自分で「学び」を作っていける人になれる。
これがZ会の考える「あと伸び」です。

幼児期に築く学びの土台



Z会幼児コース 監修者
松寄 洋子 (まつぎま ようこ)

千葉大学教育学部幼児教育教室教授。博士(子ども学)。臨床発達心理士。専門は発達心理学・保育学・生活科教育で、遊びにおける仲間関係の発達や、保育環境が身体運動遊びに及ぼす影響、保育所と小学校との連携などをテーマにした研究を行う。



幼児期の体験は、 中学受験の大きな支えにも。

新しいことに出合ったとき、実体験をとおして学ぶことでより定着しますが、高学年のお子さまが、実体験を伴って学ぶ時間をとることはなかなか難しいものです。何にでも興味をもち、「なぜ?」「どうして?」がいっぱい生まれる幼児期の今こそ、中学受験など先の学びにつながる力の素地をゆっくりと作ることができる時期。実体験をとおした質の高い学びが、力強い土台となります。

幼児コースの体験課題と中学受験のつながり /

幼児期に工作体験を通じて、てんびんのはたらきを体感した経験が、受験の問題を解くうえで生きた知識となって理解を助けてくれます。

幼児コースでは

年中の『べあぜっと』では、身近な素材を使った工作を通じて、てんびんの仕組みを体感します。



『べあぜっと』年中2月号

中学受験コースでは

てんびんのはたらきは、中学受験に頻出の分野です。中学受験コースの教材では、知識を体系的に整理します。



Z会中学受験コースの教材より



幼児コース 受講者Voice

**実際に体験したことを思い出し、
苦手科目を克服することができました。**

愛知県 東海中学校 中学1年生 M・Yさん

『かんがえるちからワーク』の問題はおもしろく、勉強というよりもゲームのような感覚で取り組んでいました。小学校に入るときにはもう、机の前に座ることが習慣になっていたのですが、ありがたいことに「勉強がつらい」と思ったことはほとんどありません。受験勉強が始ま

ってから、理科で苦手な分野ができたのですが、子どもの頃に父といっしょにやった体験を思い出すことで克服できました。「自分で考えることは楽しい」という感覚が早くから身につけていたから、難問が登場しても、あきらめずに向かっていけたように感じています。

※取材当時の学年です。

年少のご案内

(2017年4月2日~2018年4月1日 生まれの方対象)

「初めて」との出会いを楽しむ

雨粒が水たまりに作る波紋、クレヨンのかき心地、乾いた洗濯物のふわふわな感触——。

年少期の子どもの毎日は「初めて」との出会いの連続です。

興味のアンテナがそれらに反応したその瞬間を逃さず、

子どもの疑問や興味にとことんつきあうこと。それが「あと伸び力」をつけるいちばんの近道。

Z会幼児コース年少の教材は、子どもの興味のアンテナに響くものであることをもっとも重視しています。

忙しい毎日だからこそ貴重な親子の時間がより充実したものになります。



※紹介している教材・サービスのデザイン・仕様は変更する場合があります。
※受講者の声は取材当時の学年で掲載しています。

1カ月の教材一覧

毎月お届けする教材は4種類。体験型教材の『ぺあぜっと』は休日に、短時間で少しずつ取り組める『かんがえるちからワーク』は平日に……と生活パターンに合わせて取り入れやすい教材構成になっています。

ぺあぜっと

- 親子で取り組む体験型教材



親子で

月4回・休日に
各回2~6ページ

取り組み時間
1回10分~1時間

いっしょにおでかけブック

- 図鑑や絵探しなどの要素が入ったミニサイズの絵本型教材



親子で

月に1冊
毎月16ページ
外出先でも楽しめる

※ページ数は月によって変更になる場合があります。

かんがえるちからワーク

- 親子で取り組むワーク教材



月24回・平日に
各回1~2ページ

取り組み時間
1回5分~10分

※8・12・3月は30回
※文字が読めるようになるまでは、保護者の方がサポートしてあげてください。



親子で

ぺあぜっと⁷¹

- 『ぺあぜっと』の取り組み方や育児情報が載った保護者の方向け情報誌



保護者の方向け



年4回
取り組み時間
1回10分~15分

かんがえるちからワーク デジタルプラス



1カ月の学習の流れ



※幼児コース年少には、提出課題はありません。

初めての学びを、楽しく充実したものに

1年間の流れ

年少

『べあぜっと』『いっしょにおでかけブック』では、身のまわりにあるものや、ふだん何気なく目にしているものを学びのきっかけにすることを重視しています。『かんがえるちからワーク』は、「できた!」「わかる!」が感じられる発達段階にあわせた出題と、幅広い領域からの出題が特長。さらに年少の1年を「ひらがな“読み”重点カリキュラム」とし、ひらがなの識別力を高め、読む力を養います。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生活・自立 年少児の目標でもある、生活面の自立につながる課題を多く取り上げます。お手伝いも、遊びのように自然に興味をもって取り組めるよう工夫しています。	4月号・自立 靴を並べる				8月号・食育 夏の果物でジュース作り		10月号・食育 ご飯を炊く	12月号・自立 おはしの練習		1月号・食育 おもちゃの料理		
表現・身体活動 身近な素材を使い指先を動かす体験課題を多く取り上げ、工夫する喜びや集中力を養います。		5月号・手指操作 はさみに挑戦		7月号・手指操作 布をたたむ		9月号・からだあそび 動物の動きのまね		11月号・手指操作 アイデア工作				3月号・食育 お祝いメニュー
自然・環境 季節や発達段階に合わせた課題で、探究心を育てます。	4月号・自然 春の花探し		6月号・ことば ことばゲームで遊ぶ		8月号・形 三角形で形遊び			12月号・数 数の多少の比較		1月号・自然 結露の観察	2月号・自然 冬野菜の観察	
数・形・論理 ことば												
いっしょにおでかけブック 毎月、さまざまなテーマでお届けします。	10までの数	あいさつ・マナー	五感・擬音語	昆虫・動物	あいうえお	折り紙	自然・季節(秋)	えかきうた	まちと仕事	伝統・文化	自然・季節(冬)	植物・季節(春)
ことば ひらがなの字形への興味を引き出す問題や運筆練習、親子での会話をとおして名詞・動詞・形容詞の語彙を増やす問題を出题します。	4~9月受講特典 「にこにこひらがなひょう」		5月号 ひらがなの 字形の認知	8月号 名詞の語彙		10月受講特典 「ひらがなカードセット」		12月号 単語を読む		1月号 運筆練習		
数・形・論理 1~10の数にふれ、数の概念を少しずつ学びます。また、図形に親しむ問題を出题。規則性を読み取る問題にも挑戦し、論理的思考力の土台を育みます。	4月号 数の比較		7月号 長短比較		10月号 数の概念		11月号空間認知		2月号 計数			
生活・自立 自然・環境 表現・身体活動 よく目にする植物、動物などを取り上げた問題で、自然に対する興味を広げていきます。日常生活を題材にした問題も出题し、お子さまの自立を後押しします。		6月号 生き物の特徴			9月号 食べ物の旬		12月号 規則性		1月号 課題描画	3月号 生活習慣		

※ここでご紹介しているのは、取り組み課題の一部です。内容は変更する場合があります。

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

ぺあぜっと

年少

見るもの触るものすべてが初めての年少期。「やってみたい」という好奇心を尊重し、実際に体験させて、達成感を感じられるようにしてあげることが大切です。そこで『ぺあぜっと』では、年少期の子どもが取り組みやすい体験課題を精選。幼児期に大切な5つの領域をバランスよく体験することで、学びを広げていきます。

表現・身体活動

手を動かして発想力を刺激する遊びを提案

子どもに知的刺激を与えるという点では、用途が決まった知育玩具やDVDのようなバーチャルなものよりも、身近にある素材で実際に指先を動かす遊びのほうが効果的です。ご家庭にあるもので簡単にできて、知的発見につながるような遊びを提案します。



5月号「はらべこちょっさい」



8月号「さんかくのくにの だいくさん」

数・形・論理

遊びをとおして数・形に親しむ

遊びながら、数をかぞえたり、形を比較したりする体験をご用意。数・形への興味を自然にうながします。



ことば

ことば遊びで表現力を豊かに

おうちの方とのことば遊びをとおして語彙を増やし、表現の幅を広げます。



6月号「だれがどこでなにをする?」

☆
☆

月4回

取り組み時間... 1回 10分~1時間



☆
☆

自然・環境

見過ごしがちな自然現象の不思議さに注目

幼児期の体験は、自然の神秘に気づく感性を育てるカギとなります。ふだん見過ごしがちな自然現象に目を向け、自然・環境への関心を高めます。



11月号「かげはともだち」

生活・自立

教材をきっかけに日常生活への関心を

▶ 食育

まるごとの素材を五感で感じ、できたものを味わうことのできる食育は、人気の取り組み。「自分でできた!」という達成感が感じられる課題で、無理なく、食への関心と挑戦意欲を育むことができます。

▶ 身じたく・お手伝い

年少期は、身じたくを自分でしたりお手伝いをすすんでしたりすることも非常に重要な体験です。そこで『ぺあぜっと』年少では、そうした生活体験の課題を多く取り入れています。

4月号「くつがないてるよ」



! 誌面にシールをはるなど、実際の体験に誘導しやすくする工夫も取り入れています。

幼児コース
受講者Voice

親子で楽しむアイデア集。子どもの興味の幅が広がりました。

神奈川県 小学1年生 K・Kさん お母様

『ぺあぜっと』を活用することで、家族と一緒に何かをすることが増えました。『ぺあぜっと』には、自分では思いつかないようなアイデアが詰まっています。子どもも、いちから自分で作ることが楽しいよう

で、市販のおもちゃで遊んでいるときと明らかに熱中度が違います。料理をしたり、植物を観察したりとさまざまな分野にふれられるので、子どもの興味の幅が広がっているのを感じます。

解くことを楽しめる問題で、学びへの意欲を引き出す

かんがえるちからワーク

年少

ワーク教材に慣れていないお子さまでも楽しく取り組めるよう、シールを使ったり、親子で会話しながら解いたりする問題も織り交ぜて出題。幅広い領域からの出題なので、飽きることなく「もっと学びたい」という気持ちを引き出します。

数・形・論理

6月号 数の多少の比較



数や形に親しみ、算数につながる土台を形成

十分な時間をかけて数の概念の理解を確実にしていくカリキュラム。ものの形に意識を向ける、平面図形・立体図形の理解の第一歩となる問題も出題します。

生活・自立

1月号 生活習慣



自分のことを自分でしたい気持ちを育て、自立をうながす

毎日の暮らしや生活習慣に目を向ける問題を出題。生活面での自立をうながします。



親子の会話の中で、ことばの基礎力を伸ばす

親子で楽しく問題を解く中で語彙を増やします。また、ひらがなに興味をもち、一通り読めるようになることを目標にしています。字を書くための手指の力をつける練習もします。

ことば



10月号 語彙力

！
学びを深めたり別の分野に展開したりする発展的な問題「もっと!」を出題。お子さまの発達段階にあわせてプラスαの学びを提供します。

年少「ひらがな 読み 重点カリキュラム」でひらがなを無理なく楽しく学習!

『かんがえるちからワーク』は「ことば」領域が充実!

4~9月は「ひらがな探し」の問題でひらがなの字形認知力・識別力を高める学習をします。10月以降は9月までの復習とともに、濁音・半濁音や小さい「っ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の読みも学習します。



月24回

※8・12・3月は30回となります。

取り組み時間... 1回 5~10分



動画や音声を使ったデジタルワーク

かんがえるちからワーク デジタルプラス

毎月お届けする冊子のワーク以外に、年4回取り組むデジタル教材です。

デジタルだからこその動画や音声を使った問題を多数出題し、年少さんの知的好奇心を刺激。楽しみながら「考える力」の土台を養います。

●おためし問題に取り組めます

<https://service.zkai.co.jp/ad/pre/try/index.html>



年4回 配信

お手持ちのスマホ・タブレットで

取り組み時間の目安
1回 10~15分

※動作環境等の詳細については、<https://www.zkai.co.jp/pre/requirements/>にてご確認ください。



2021年 NEW

※画像は開発中のものです。内容やデザインは変更になることがあります。

領域別の出題内容とねらい

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	ねらい	
ことば	読み	ひらがな(清音)						単語を読む						ひらがなを読む力を養う(4~9月:字形の認知、10~3月:単語を読む)。筆記具を思うとりに動かす。
	書き	連筆の練習						なぞり書き						
語彙	● 名詞 ● 動詞 ● 形容詞 ● 擬音語 ● 反対語 など													
数	1~3の数			1~5の数			1~10の数						1~10のものの数をかぞえる。1~10のものの数の多少を比較する。	
形	● 大小、長短、量の比較 ● 平面図形 ● 立体図形 ● 間違い探し など												図形に親しむ。○・△・□の形がわかる。	
論理	● 規則性の理解 ● 仲間分け ● 条件整理 ● 順序 ● 迷路 など												条件をもとに考える経験を積む。	
自然・環境	● 生き物 ● 植物 ● 季節 など												身近な自然に興味をもつ。	
生活・自立	● 生活習慣・健康 ● 安全・道徳 ● 野菜・果物 ● 暮らし など												毎日の生活に対する興味を深め、自立を促す。自分の体、健康に関心をもつ。交通ルールや公共の場所でのマナーを知る。	
表現	● 課題表現 ● 課題描画 ● 言語表現												表現する楽しみを知る。	

※出題内容やねらいは、変更する場合があります。

「にこにこ ひらがなひょう」(4~9月受講特典)で楽しみながらひらがなを覚える!



壁にはるタイプのひらがな五十音表。学習したひらがなに「にこにこシール」をはって、楽しみながら覚えていきます。

「ひらがなカードセット」(10月受講特典)で字形認知力を高める!

「ひらがなカード」を使ったすごろくなど、遊びながらひらがなの「読み」の力を高めるしつけがいっぱいです。



年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

いっしょにおでかけブック

年少

年少期の子どもたちは、本のセリフを声に出してまねしたり、ものの名前を覚えたりするのが大好き。そんな年少さんが絵本のようにお話を楽しみ、図鑑のように知的好奇心を伸ばせる絵本型教材です。



8月号「おにぎりのたび」

「考えさせる」「会話が広がる」 しかけがいっぱい

一度読んで終わりではなく、誌面をもとにしたクイズや絵探しなどの取り組みも織り交ぜ、何通りもの使い方ができるのがこの教材の大きな特長。たとえばこの号では、「“あ”のつくものはあるかな?」といったように絵探しを楽しみながら語彙を増やし、言葉の世界を豊かにすることができます。



幼児コース
受講者Voice

ページの中でいろいろな楽しみ方ができ、
興味の幅が広がるきっかけになっています。

神奈川県 年中 T・F さんご両親

病院など待ち時間が長くなるときに、子どもと一緒に読んでいました。絵本だとすぐに読み終わってしまうのですが、『いっしょにおでかけブック』だと、「〇〇はどこにあるかな」などと話題を広げていけるので、長い時間でも

興味が続きます。自分の好きなものには興味があったのですが、動物がお買い物をする内容のおでかけブックを読んだ後、スーパーでほかの野菜や果物にも目がいくようになり、好奇心が広がっているのを感じます。



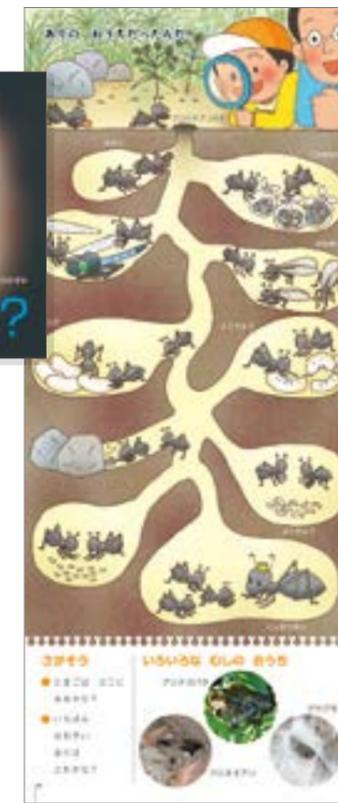
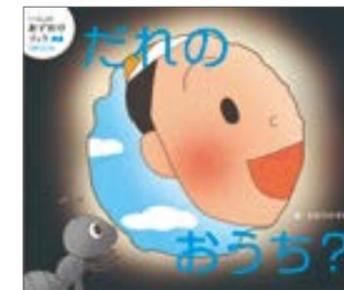
月1冊(16ページ)

※ページ数は月によって変更になる場合があります。



さまざまな“知的刺激”を 月替わりでお届け

毎月バラエティーに富んだテーマを取り上げます。誌面には、お子さまが想像をふくらませ、親子の会話が広がっていくような工夫を随所に取り入れています。



4月号「10ぼんクレヨン」

7月号「だれの おうち?」



外出先でも使える おでかけ仕様

『いっしょにおでかけブック』のサイズはA4サイズの半分以下(148mm×178mm)。サイズが小さく軽いので、持ち運びに便利です。レストランや病院の待ち時間なども親子で楽しく過ごすことができます。

お届けするテーマ

- | | | | |
|--------------|-----------|---------------|--------------|
| 4月号 10までの数 | 7月号 昆虫・動物 | 10月号 自然・季節(秋) | 1月号 伝統・文化 |
| 5月号 あいさつ・マナー | 8月号 あいうえお | 11月号 えかきうた | 2月号 自然・季節(冬) |
| 6月号 五感・擬音語 | 9月号 折り紙 | 12月号 まちと仕事 | 3月号 植物・季節(春) |

ペあぜっと^{アイ}

解説編では既製の付録セットやDVDなどに頼らない、ご家庭での『ペあぜっと』の取り組みをサポート。情報編では専門家へのインタビュー記事やZ会のおすすめる絵本紹介など、子育て期に役立つ情報を毎月、掲載しています。



ペあぜっと^{アイ} 解説

遊びを学びに変えるヒントがいっぱい

『ペあぜっと』の取り組み一つ一つに丁寧な解説をつけているのが、大きな特長。遊びを盛り上げたり、子どもの発見を促したりするための具体的なコツを示しています。



4月号「おはながいっぱい」解説



ペあぜっと

Point

『ペあぜっと』の体験課題が、以降の学びにどうつながっていくかを示し、学びにつける子どもに寄り添う保護者の方をサポートします。

ペあぜっと^{アイ} 特集

幼児期の子育てを多方面から応援!

しつけの仕方や園での集団生活についてなど、子育て中は気がかりなことが多いもの。特集ページでは、毎月こうした話題を取り上げ、専門家にインタビュー。子育てのあり方を振り返るきっかけとなるページです。



Point

『ペあぜっと』の取り組みや年少さんの今にぴったりの絵本をZ会が厳選して紹介する人気コーナー「本のある生活」も毎月掲載。

子どもたちを本物に出合わせよう



子どもは、ただ大人に守られるだけの存在ではありません。包丁だって、火だって、扱い方を正しく教えてもらえば、それを吸収し、上手に使いこなす力をだれもがもっています。初めての作業を自分ひとりでやり終えたとき、子どもの心に残るのは「自信」です。そして、「もっとやってみたい」という挑戦への意欲。それらは、小手先の学力よりも何倍も大きく、将来にわたって子どもを支え続ける力です。DVDや知育玩具にはない、“本物”の体験を、子どもたちにさせようではありませんか。

Z会幼児コース
食育ページ監修者

坂本 佳奈
(さかもと かな)

食育・食文化 料理研究家。幼少のころから食育教育の実践を受けながら育つ。食べることは人間の基本、食文化は文化の根底を基本理念に、アジアを中心に家庭料理を研究中。修士(生活科学)。



ペあぜっと^{アイ} 解説

「子どもが主役」の体験をサポート

せっかくの体験課題も、大人が必要以上に手を出してしまえば、子どもが達成感を感じられなくなってしまいます。『ペあぜっと』では「子どもが主役」の体験ができるよう、「教え方」「見守り方」をアドバイスします。

8月号「なつのももみみジュース」解説



ペあぜっと

Point

食育は、多くのお子さまにとって初めての体験となる作業がほとんど。そこで、保護者の方からの声かけの仕方を具体的に説明し、安全に、失敗なくできるよう配慮しています。

楽しみながら
取り組めるね



Point

『ペあぜっと』年中・年長の食育ページでは、料理を一品作ることが毎月の体験課題となっていますが、年少では発達段階を考慮して、食材の皮むきなど基本的な作業から始め、段階的にレベルアップしていきます。



年少 1年間にお届けするアイテム

スタート
セット

ご入会時にお届けします!

かたちであそぼう おえかきセット

かたちに親しみながら、運筆練習を!

型をなぞり形をかいて運筆練習ができる「ぞうさんプレート」と、「ぞうさんプレート」を使って絵を完成させる「おえかきポスター」、年少児が絵や線をかくのに適した水性の「おえかきペン」の3点セットです。「おえかきポスター」では、「ぞうさんプレート」の形を絵の一部に見立て、形に親しみます。楽しみながら、丸や三角などの基本的な形を繰り返しかくことで、ひらがなをかくために必要な運筆力が身につきます。



「ぞうさんプレート」

裏面に滑りにくい加工がしてあるのでかきやすい!

「おえかきペン」

手指の未発達な年少期でもかきやすい水性ペン



「おえかきポスター」



副教材

時期に合わせてお届けします! ※それぞれ、該当月をご受講の方にお届けします。

4~9月受講特典



にこにこ ひらがなひょう

壁にはって、ひらがなと濁音・半濁音を確認できるひらがな五十音表。学習したひらがなに「にこにこシール」をはって、楽しみながらひらがなを覚えていきます。

受講者
Voice

年中になった今も愛用していて、リビングにはいつでも見られるようにしています。まだ覚えていない文字は、表を見て絵をヒントに読みを確認できるので覚えやすいです。

10月受講特典



ひらがなカードセット

ひらがなが書かれたカードを組み合わせてことばを作ったり、すごろくなどを楽しんだりしながら、ひらがなの「読み」の力を養います。

受講者
Voice

ゲームなどの遊びをとおして、ひらがなを覚えることができます。とくに「しゅうりやさん すごろく」は、子どもが楽しく取り組み、ひらがなを覚えるのに役立ちました。



幼児コース

年中のご案内

(2016年4月2日~2017年4月1日 生まれの方対象)

好奇心をぐんぐん広げる

年中期のキーワードは「好奇心」。

はさみを使う工作やお絵かき、外遊びなどできることも増え、

興味のあることは「どうしてもやりたい!」と自己主張も強くなります。

この時期は、子どもらしい好奇心を十分満たせるような遊びに出合わせ、

個性をのびやかに発揮できる環境を作ることが大切です。

Z会幼児コース年中では、実験や工作など日常生活では出せない特別感のある

体験課題で好奇心をくすぐりながら、ひとりでがんばる気持ちもワークで応援。

この1年の経験が、年長での理解力・洞察力につながります。



※紹介している教材・サービスのデザイン・仕様は変更する場合があります。
※受講者の声は取材当時の学年で掲載しています。

年中

1カ月の教材一覧

毎月お届けする教材は4種類。体験型教材の『べあぜっと』は休日に、短時間で少しずつ取り組める『かんがえるちからワーク』は平日に……と生活パターンに合わせて取り入れやすい教材構成になっています。

べあぜっと

●親子で取り組む体験型教材



月8回・休日に
各回2~4ページ
取り組み時間
1回10分~1時間

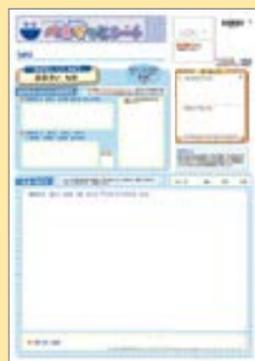
※取り組み回数は変更になる場合があります。

親子で



べあぜっとシート

●親子の会話をもとに、絵をかくて提出する課題



月1回・休日に

親子で



かんがえるちからワーク

●お子さまひとりで取り組む自習用ワーク教材



月46回・平日に
各回1ページ
取り組み時間
1回5分~10分

お子さま
ひとりで



※文字が読めるようになるまでは、保護者の方がサポートしてあげてください。

べあぜっと^{アイ}

●『べあぜっと』の取り組み方や育児情報が載った保護者の方向け情報誌



保護者の方
向け



かんがえるちからワーク デジタルプラス

年4回
取り組み時間
1回10分~15分



きいてわくわく えいごパーク

年4回
取り組み時間
1回10分~15分



1カ月の学習の流れ

1 教材が届く

毎月、前月末にお届けします。教材到着後、内容物をご確認ください。



3 「おへんじシート」が届く

「べあぜっとシート」ご投函後、担任指導者からのお手紙「おへんじシート」とともに約3週間で返します。

※ご自宅・Z会間の往復の郵送期間は含まれておりません。

「べあぜっとシート」
提出

2 教材に取り組む

『べあぜっと』と『かんがえるちからワーク』は、ともに1カ月で終わる分量になっています。ご家庭の生活パターンに合わせて、平日・休日で使い分けていただくことが可能です。



平日におすすめ



「かんがえるちからワーク」

休日におすすめ



「べあぜっと」



「べあぜっとシート」

年4回配信



「かんがえるちからワーク デジタルプラス」



「きいてわくわく えいごパーク」

「べあぜっとシート」
提出

この1年の経験が、年長進級時の自信に

1年間の流れ

年中

認知機能、巧緻が発達し、なんでも自分で「やってみたい!」と思う年中期。『ぺあぜっと』はそんな時期に興味をもちやすいテーマを厳選。『かんがえるちからワーク』では、「ひらがな“書き”重点カリキュラム」で、ひらがなの読み書きをしっかりと学習します。ワーク学習と実体験の両輪で、5つの領域を網羅し、「考える力」を引き出します。

ぺあぜっと

かんがえるちからワーク

- 自然・環境
- 表現・身体活動
- ことば
- 数・形・論理
- 生活・自立

テーマ別体験

年中児が興味をもちやすい、五感を刺激するテーマを選定。スペシャル感のある体験課題で意欲を引き出します。

ことば数食育 (毎月連載)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「かたち」 身のまわりの物の形に注目する 「のはら」 野原の植物に目を向ける	「おと」 耳をすましたり、音を出したり音のもつ性質にふれる 「なつ」 夏の野菜や風物に親しむ 「かがくあそび」 身近なもの科学実験を楽しむ	「かがくあそび」 手作りおもちゃで科学現象にふれる 「からだあそび」 体を動かして表現する	「あき」 植物や動物から秋を感じる 「のびる・ちぢむ」 伸び縮みのしくみを知る 「ジャンプ」 跳躍のしくみを体感する	「ふゆ」 冬の現象を観察する 「おおそうじ」 大掃除を通して自立心を高める 「はこ」 箱を使った工作や生活に役立つ箱に注目する	「みぎ・ひだり」 遊びを通して左右を意識する 「さかさま」 鏡を使った実験など、さかさまを楽しむ 「かいもの」 「買い物」を通じ社会へ視野を広げる						
4月号・食育 パフェ作り	5月号・ひらがな か行のことば探し	7月号・食育 きゅうりの漬物作り	8月号・食育ゼリー作り	11月号・食育 日本茶	2月号・数 手作りてんびんで重さ比べ	2月号・音読					

ことば

ひらがなの読み書きを重点的に学習。かたかなの読みや語彙を増やす問題も出題します。

4~10月受講特典 「ひらがなだいすきワーク」	5月号 しりとり	8月号 小さい「っ」のつくことば	10月号 ひらがなを書く	12月号 かたかなを読む
----------------------------	-------------	---------------------	-----------------	-----------------

数・形・論理

1~10の数の概念を理解し、論理的思考力の土台を育みます。

6月号 平面図形の認知	9月号 立体図形の認知	11月号 形容詞の語彙	3月号 条件整理
----------------	----------------	----------------	-------------

生活・自立

身のまわりにあるものを題材にした問題で、自然や日常生活、自分の体や健康への興味を引き出します。

4月号 ごみのかたづけ	7月号 課題描画	8月号 身近な生き物の特徴	10月号 秋の植物	12月号 お話の順番を考える	1月号 数の合成・分解	2月号 年中行事
----------------	-------------	------------------	--------------	-------------------	----------------	-------------

※ここでご紹介しているのは、取り組み課題の一部です。年間テーマ・内容は変更する場合があります。

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

ぺあぜっと

年中

さまざまなものを実際に見て、触って——幼児期には、全身で感じる体験が欠かせません。年中では、とくに五感を刺激することを大切にした課題を精選。幼児期に大切な5つの領域をバランスよく凝縮した課題で、充実した学びをお届けします。

数・形・論理

かたち探して 類型化する力を養う

視覚的な共通点に注目し、身のまわりにあるもののなかからかたち探しをします。観察力や柔軟な思考力を養います。



4月号「ぎざぎざしましまぐるぐる」



4月号「あいうえおではじまることば」

ことば

絵探しクイズから 文字への関心を

年中期は、耳で聞く一音一音と、文字(ひらがな)とを対応させていく時期。絵探しをきっかけに、五十音のひらがなに関心をもたせ、字形を認識させていきます。



生活・自立

食材を五感で感じ、 観察力を育てる

すりばちで煮干しや桜えび、いりごまなどをすりつぶしてふりかけをつくるなど、年中さんの発達段階に応じた料理に毎月取り組みます。食材をする感触や音、香り、味を感じる体験は、観察力を高めるだけでなく、理解力の土台にもなります。



6月号「ごりごりふりかけ」



月8回

取り組み時間... 1回 10分~1時間



自然・環境

細部に目を向け、 自然への関心を高める

都心でも見られる身近な存在のたんぽぽについて、葉っぱや茎、つぼみ、綿毛が開く前などさまざまな部分・状態を観察します。細部まで観察し、新たな発見をすることで、植物への興味・関心を高めます。



5月号「めざせ! たんぽぽはかせ」

表現・
身体活動

手を動かして素材の 特徴への興味を引き出す

紙でばねのようなおもちゃ「のびのびくん」を作って遊ぶなど集中力や指先の器用さを養うとともに、形や動きが変化するおもしろさにふれ、素材やしくみへの興味を引き出します。



9月号「かみてつくるのびのびくん」

幼児コース
受講者Voice

体験したことが実生活に役立つ知恵に
なっていくことを感じました。

大阪府 年長 Y・M さん お母様

家で金属の部分がさびてしまったものがあったときに、10円玉をピカピカにできるか、いろいろな調味料で実験する課題を思い出し、「ケチャップで磨くとピカピカになったよね」といって一緒にやってみまし

た。そうしたらちゃんとピカピカに。体験して学んだことが、しっかり子どもの中に知識として残っていて、それが実生活で使いこなせるものになっていることに感動しました。

かんがえるちからワーク

年中

ことば・数・形・論理・自然・生活・表現など幅広い領域からの出題で、好奇心と知識の幅を広げるとともに、「答えがひとつでない問題」「条件を元に考える問題」で、考えることそのものを楽しもうという気持ちを引き出します。

数・形・論理



9月号 数の多少の比較

小学校への入学を見すえた無理のない「算数学習」

幼児にとってなじみのある具
体物を使い、数を数える
問題から始めます。たし
算・ひき算の基礎となる
数の合成・分解の問題に
も挑戦していきます。



生活・自立

9月号 加工品の原材料



ことば

文字の読み書きをとおして、「ことば」の総合力を養う

ひらがなが一通り書けるようになることをめざします。また、ひらがなの読みは、単語から短文、短文から文章へと少しずつレベルアップしていきます。読む力、書く力を鍛えるとともに、さまざまなことばにふれることで語彙を増やしていきます。



6月号 音節分解

日々の生活をより楽しく、発見に満ちたものに

生活上のマナーについて確認するだけでなく、生活の中で見過ごしがちな点に注目した問題も出題します。

！
学びを深めたり別の分野に展開したりする発展的な問題「もっと!」を出題。お子さまの発達段階にあわせてプラスαの学びを提供します。

年中「ひらがな 書き 重点カリキュラム」でひらがなを無理なく楽しく学習!

『かんがえるちからワーク』は「ことば」領域が充実!

4~10月は、別冊『ひらがなだいすきワーク』と連動して、ひらがなの書きの練習をします。11月以降は、「字形に注意してひらがなを書く」ことをより意識した問題に挑戦します。



楽しく飽きずに取り組める『ひらがなだいすきワーク!』(4~10月受講特典)

10月までの7冊、計80ページ以上のボリュームで、清音、濁音、半濁音をすべて学習する、ひらがな専用ワーク。お話仕立ての内容、多彩な出題形式により、お子さまの学習意欲を引き出します。



月46回

取り組み時間... 1回 5~10分

かんがえるちからワーク



楽しみながら論理的思考力を養う

順序づけや条件整理、仲間分け、お話の順番を考えるなど、与えられた条件をもとに考える力を身につけます。年中の発達段階に合った難易度で、少しずつステップアップしながら論理的思考力を養います。



幼児コース
受講者Voice

楽しみながら試行錯誤を積み重ね、ねばりつよさが身につきました。

東京都 年長 H・A さん お話:ご両親

教材が届くと、まず内容を一通り見て、自主的にどこまでやるか決めていきます。ワークのお気に入りには迷路。「一番多くぶどうを集められる道順」という一筋縄では解けない問題では、間違えても何度もゲームを楽しむように挑戦しています。それが小さな積み重ねになったのか、副教材の『ひらがなだいすきワーク』をやっている時も、書き順を間違えた時に自分で気づいて直すなど、ねばりつよくなり取り組むようになりました。

領域別の出題内容とねらい

※出題内容やねらいは、変更する場合があります。

領域	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	ねらい		
ことば	単語を読む												短文を読む。 手本を見ながらひらがなを書く力を養う。 かたかなに興味をもつ。 語彙を増やす。		
	短文を読む														
	ひらがなの読み						なぞり書き・お手本を見て書く練習							なぞり書き・お手本を見て書く復習	
	ひらがなの書き						かたかなに興味をもつ							単語を読む	
数	語彙 ● 名詞 ● 動詞 ● 形容詞 ● 擬音語・擬態語 など												1~10の数字を読んだり、書いたりする。 1~10の数の多少を比較する。 5までの数を合わせたたり、分けたりする。 時計に興味をもつ。		
	数字の書き														
	数字の順番														
	1~3			1~5			1~10			1~10					
	1~5			1~8			1~10			1~5					
形	時計												平面図形・立体図形に親しむ。 複数の図形を組み合わせた形を認識する。		
	時計に興味をもつ														
論理	● 平面図形 ● 立体図形 ● 図形の比較 ● 長短の比較 ● 高低の比較 など												条件をもとに考える力を身につける。		
	● 規則性 ● 情報整理 ● 仲間分け ● お話の順番を考える ● 迷路 ● 推移関係 ● プログラミング的思考 など														
自然	● 生命(生き物、植物) ● 地球(気象、天体、季節) ● エネルギー・物質(磁石、ゴム、ものの落下、空気、水、重さ) など												身近な自然に興味をもつ。 科学的思考力を身につける。		
	● 生活習慣・健康 ● 安全・道徳 ● 食(食材、調理、食生活) ● 暮らし(年中行事、地域、道具) など														
表現	● 課題描画												表現する楽しみを知る。		



▲オリジナルキャラクターのお話仕立てのワーク

▲多彩な出題形式

▲濁音・半濁音の学習も充実

かんがえるちからワーク デジタルプラス 年中

デジタル教材ならではの、音声や動画を使った問題に挑戦。
『かんがえるちからワーク』とあわせて取り組むことで、
「考える力」を多角的に養います。

年4回 配信

取り組み時間の目安
1回 10～15分

お手持ちの
スマホ・タブレットで

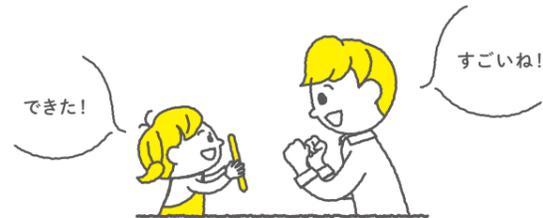
※動作環境等の詳細については、<https://www.zkai.co.jp/pre/requirements/>にてご確認ください。



※画像は開発中のものです。内容やデザインは変更になることがあります。

動画や音声を使った 多彩な出題で 楽しみながら学習

お話をよく聞いて答える問題や、動画を見て推理する問題など、デジタルだからこそできる問題を多数出題。『かんがえるちからワーク』とあわせて取り組むことでさまざまな「考える」体験をし、「考える力」を楽しみながら多角的に養うことができます。



1つのテーマに集中して取り組み、 考える力を養う

「かんがえるちからワーク デジタルプラス」では「知識を活用して考える問題」に特化。「正しく捉える力」「試行錯誤する力」「推理する力」「論理的に判断する力」の4つの力に焦点をあて、配信回ごとに1つの力を重点的に学習することで、知識を活用して答えを出す力を身につけます。

正しく
捉える力

試行錯誤
する力

推理する力

論理的に
判断する力

●おためし問題に取り組みます

<https://service.zkai.co.jp/ad/pre/try/index.html>



きいてわくわく えいごパーク 年中

画面をタッチして音声をきく中で、自然と英語の音に
親しみ、英語を「楽しい!」と思う気持ちを育てます。

年4回 配信

取り組み時間の目安
1回 10～15分

お手持ちの
スマホ・タブレットで

※動作環境等の詳細については、<https://www.zkai.co.jp/pre/requirements/>にてご確認ください。

Z-KAI Group × 英検 Jr.

※「きいてわくわく えいごパーク Z会グループ × 英検 Jr.」は、Z会グループが、公益財団法人日本英語検定協会公式のサービスである「英検 Jr. オンライン版」のラーニングコンテンツの一部を、編集し提供するサービスです。 ※英検 Jr.®は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。

成長とともに 新しい世界を広げる英語学習

英語の学習開始も低年齢化が進んでいます。日本語をしっかりと磨いてから、と構える必要はありません。英語にふれることは、お子さまの興味を広げ、世界に目を向ける機会になります。日本語とは異なるリズムやアクセントをもつことばがあることを知り、「英語は楽しい!」という気持ちを育てていきます。



※内容やデザインは変更になることがあります。

聞いて、話して、 楽しく英語に親しむ

イラストをタッチして英語をきくだけでなく、「かるた」や「もぐらたたき」などのゲームに挑戦するなかで自然と英語に親しめる工夫をしています。子どもたちにとってなじみのある表現を厳選しているので、すぐに声に出して家族に伝えてみたくなるでしょう。



年中で扱うテーマ

- 動物 ●顔
- 季節と1日の流れ ●色

英検 Jr.

とは 子どもの英語能力の調査・研究を目的に、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標として開発された子ども向けのリスニングテストです。

受講者
Voice

●英語に興味をもって発音をまねしていました。ゲームも楽しかったようで何度も繰り返し遊んでいました。

●就学前に、追加費用なく、英語にふれる機会をもつことができてありがたいです。

ぺあぜっとシート

年中

さまざまな体験を蓄積していく中中期。親子でテーマに沿って会話し、ことばや絵で表すことでその体験を思い出し、表現する力を養います。

ぺあぜっとシート3つの効果

1 自由に発想する力がつく

月ごとのテーマに沿って、親子で会話を広げていくことにより、豊かな発想力を育てます。おうちの方にとっては、お子さまの思いがけない考えや発想を知る機会にもなるでしょう。

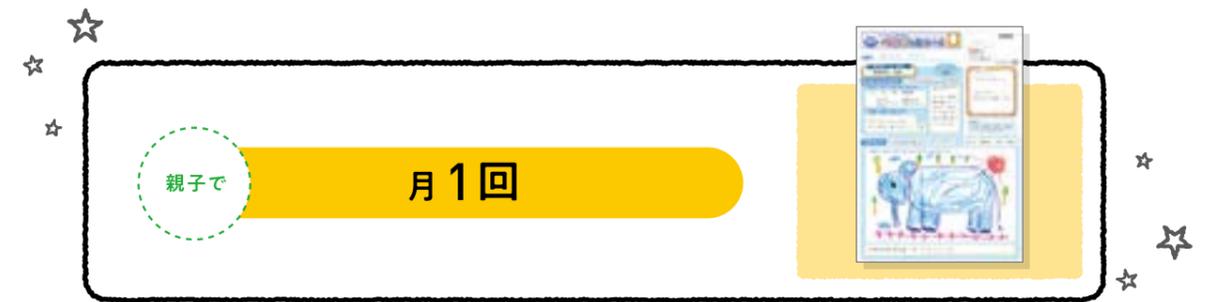


お子さまのやる気を応援します!

ポイントをためて、「努力賞」を獲得!

「ぺあぜっとシート」を1枚提出するごとにたまるポイントを集めて、お子さまの気に入った賞品と交換できる「努力賞」をご用意。「ぺあぜっとシート」提出の動機づけにつながります。

※努力賞ポイントは図書カードまたはnanacoポイントと交換できます。
右記は、専用サイトにてnanacoポイントで購入できる賞品の一例です。
※「nanaco(ナナコ)」は株式会社セブン・カードサービスの登録商標です。



2 体験をことばや絵におきかえる力がつく

話したり絵をかいたりする機会をもつことで、頭の中に蓄積された体験を整理し、ことばや絵におきかえ、表現する力を養います。



3 人に伝えるのが楽しくなる

担任指導者から毎回「おへんじシート」が届くことが励みとなり、自分の体験や考えを人に詳しく伝えようとする姿勢が身につきます。担任指導者は「ぺあぜっとシート」を丁寧に読み取り、お子さまに向けて心を込めたお返事をお届け。表現しようというお子さまの意欲を支えます。



お子さま専属の「担任指導者」によるあたたかいサポート

1年間通して担当する「担任指導者制」

年度末までの1年間、同じ担任指導者がお子さまの「おへんじシート」を担当します。毎月やり取りの中で、お子さまとのあいだに心の交流が生まれます。

「おへんじシート」はすべて手書き

自分にあてられた手紙は子どもにとって特別なもの。だからZ会は手書きにこだわります。文字への興味が強い時期であることを考慮し、字の美しさも重視しています。



幼児コース 受講者Voice

先生にお手紙をかき感じが楽しい様子。かく絵を通して成長を実感できます。

東京都 年長 S・H さん お母様

自分から「あの時のことをかく」と言ってかいています。上手でなくても細かく表現しようとしており、そんな細かいことまで覚えているんだと驚きました。1年間同じ先生なので、返事でほめてもらえる

のもうれしい様子。先生に喜んでほしいからと、色彩豊かな絵をかきようになってきました。「課題」というよりも、「お手紙」をかきつもりで楽しんで取り組んでいます。

アイ ぺあぜっとi

解説編では既製の付録セットやDVDなどに頼らない、ご家庭での『ぺあぜっと』の取り組みをサポート。情報編では専門家へのインタビュー記事やZ会のおすすめする絵本紹介など、子育て期に役立つ情報を毎月、掲載しています。



ぺあぜっとi 解説 学びをより深める ヒントがいっぱい

『ぺあぜっと』の取り組みをとおして、子どもがより学びを深めるためのサポート方法をご紹介します。子どもの発見を促すための声かけの仕方や取り組みを盛り上げるヒントなどが満載です。



体験をより深める声かけの例を紹介。

5月号「めざせ! たんぼぼはかせ」解説

Point
『ぺあぜっと』の体験課題が、小学校入学以降の学びにどうつながっていくかを示し、学びにつける子どもに寄り添う保護者の方をサポートします。

ぺあぜっとi 情報 幼児期の子育てを 多方面から応援!

しつけの仕方や園での集団生活についてなど、子育て中は気がかりなことが多いもの。特集ページでは、毎月こうした話題を取り上げ、専門家にインタビュー。子育てのあり方を振り返るきっかけとなるページです。



Point
『ぺあぜっと』の取り組みや年中さんの今にぴったりの絵本をZ会が厳選して紹介する人気コーナー「本のある生活」も毎月掲載。

子どもたちを本物に出合わせよう



子どもは、ただ大人に守られるだけの存在ではありません。包丁だって、火だって、扱い方を正しく教えてもらえば、それを吸収し、上手に使いこなす力をだれもがもっています。初めての作業を自分ひとりでやり終えたとき、子どもの心に残るのは「自信」です。そして、「もっとやってみたい」という挑戦への意欲。それらは、小手先の学力よりも何倍も大きく、将来にわたって子どもを支え続ける力です。DVDや知育玩具にはない、“本物”の体験を、子どもたちにさせようではありませんか。

Z会幼児コース
食育ページ監修者
坂本 佳奈
(さかもと かな)

食育・食文化 料理研究家。幼少のころから食育教育の実践を受けながら育つ。食べることは人間の基本、食文化は文化の根底を基本理念に、アジアを中心に家庭料理を研究中。修士(生活科学)。

ぺあぜっとi 解説 「子どもが主役」の 体験をサポート

まるごとの素材を五感で感じ、できたものを味わうことのできる食育ページは、『ぺあぜっと』で人気の取り組み。「自分でできた!」という達成感が、子どもの自信や挑戦意欲を育みます。『ぺあぜっとi』では、大人が必要以上に手を出すのではなく、「子どもが主役」の体験ができるよう、「教え方」「見守り方」をアドバイスします。

Point
食育は、多くのお子さまにとって初めての体験となる作業がほとんど。そこで、保護者の方からの声かけの仕方を具体的に説明し、安全に、失敗なくできるよう配慮しています。



4月号「くだものパフェ」解説



Point
『ぺあぜっと』年中の食育ページは、最初は包丁も火も使わないメニューからスタート。12月号以降は年長への準備期と位置づけ、よりハイレベルなメニューに挑戦します。

- 年中メニュー例
- 海苔巻き ● ふりかけ
 - クッキー ● ポテトサラダ
 - お赤飯 など

幼児コース
受講者Voice

身近なテーマなので興味をもちやすく、親子で一緒に楽しむことができました。

兵庫県 小学1年生 A・Mさん ご家族

教材の中で完結するのではなく、学んだことが自分の生活や遊びにつながっていくんだということを知ることができる教材です。スーパーの袋など、身近なものを使うので、子どももより強く興味をひかれるようです。生活習慣に関わるテーマもあり、この年の子にやってもらいたい、身につけてもらいたいことが網羅されているので親にとっても助かりました。

年中

1年間にお届けするアイテム

スタート
セット

ご入会時にお届けします!



イーマルまないた

食育体験に使える樹脂製のまないたシートです。



(3本セット+専用鉛筆削り)

もちかたかんぺき!
さんかくえんぴつ

正しい持ち方が身につけられる太軸の三角えんぴつです。

副教材

時期に合わせてお届けします!

※該当月をご受講の方にお届けします。

ひらがなだいすきワーク

『かんがえるちからワーク』4~10月号と並行して進められる、ひらがなの学習に特化したワーク。10月までの小冊子7冊で、ひらがなの清音と濁音・半濁音をすべて取り上げます。

※4~9月分は初回受講月教材と一緒に、10月分は、10月号教材と一緒にお届けします。

4~10月受講特典



ホワイトボードマーカーで書いて消せるひらがな練習ボード付き。

ひらがなを楽しいキャラクターに。
飽きずに取り組める工夫がいっぱい!

ひらがなをひとつ書くごとに、オリジナルキャラクター「ひらがなせいじん」のシールをはっていき、楽しい構成。なぞり書きをしたがらないお子さまも意欲的に取り組みます。



さまざまな出題形式で、「書きたい」意欲を後押しします。



手紙の一部を書く

正しい字形を見分ける

受講者
Voice

●1冊1冊がうすいので嫌がらず、絵もかわいいので喜んでいました。シールをはるのも楽しいようです。「もっとたくさんしたい」と言われたときはうれしかったです。

●今までひらがなを書くことに興味がなく、取り組めるか心配でしたが、「ごほうびシール」をはることを目標にがんばって取り組んでいました。達成感を感じている様子が見られてとても良かったです。

幼児コース

年長のご案内

(2015年4月2日~2016年4月1日 生まれの方対象)

小学校入学に向けて確かな自信を

園での最上級生としての自覚も高まり、小学校入学を意識し始める年長期。

Z会幼児コース年長では、幼児期の今の体験を大切にしながら、

ワーク学習と実体験で入学準備を進めていきます。

ワーク学習では、学ぶ楽しさを実感できることを重視しつつ、

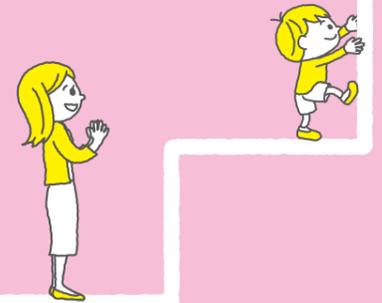
小学校入学後の国語・算数の土台となる力を育むカリキュラムで、着実に力を育みます。

実体験では、小学校入学を意識した課題はもちろん、年長期ならではの

好奇心をさらに高め、視野の広がり、思考力の深まりに応えます。

ワーク学習と実体験で得たゆるぎない自信が、

小学校生活のスムーズなスタートを実現します。



※紹介している教材・サービスのデザイン・仕様は変更する場合があります。
※受講者の声は取材当時の学年で掲載しています。

年長

1カ月の教材一覧

毎月お届けする教材は4種類。体験型教材の『べあぜっと』は休日に、短時間で少しずつ取り組める『かんがえるちからワーク』は平日に……と生活パターンに合わせて取り入れやすい教材構成になっています。

べあぜっと

●親子で取り組む体験型教材



月10回・休日に

各回2~4ページ

取り組み時間

1回10分~1時間

※取り組み回数は変更になる場合があります。

親子で



べあぜっとシート

●『べあぜっと』などの体験をもとに、絵をかいて提出する課題



月1回・休日に

親子で



かんがえるちからワーク

●お子さまひとりで取り組む自習用ワーク教材



月48回・平日に

各回1~2ページ

取り組み時間

1回5分~10分

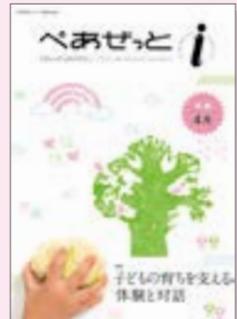
お子さまひとりで



※月によっては回数が違いますが、総ページ数は変わりません。

べあぜっとi

●『べあぜっと』の取り組み方や育児情報が載った保護者の方向け情報誌



保護者の方向け



かんがえるちからワーク デジタルプラス

年5回

取り組み時間
1回10分~15分



きいてわくわく えいごパーク

年4回

取り組み時間
1回10分~15分



1カ月の学習の流れ



1 教材が届く

毎月、前月末にお届けします。教材到着後、内容物をご確認ください。



3 「おへんじシート」が届く

「べあぜっとシート」ご投函後、担任指導者からのお手紙「おへんじシート」とともに約3週間で返します。

※ご自宅・Z会間の往復の郵送期間は含まれておりません。



「べあぜっとシート」提出

2 教材に取り組む

「べあぜっと」と「かんがえるちからワーク」は、ともに1カ月で終わる分量になっています。ご家庭の生活パターンに合わせて、平日・休日で使い分けていただくことが可能です。



平日におすすめ



「かんがえるちからワーク」

休日におすすめ



「べあぜっと」



「べあぜっとシート」

年5回配信



「かんがえるちからワーク デジタルプラス」

年4回配信



「きいてわくわく えいごパーク」

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

小学校に向けて無理なく準備できる!

1年間の流れ

年長

入学準備プログラム

小学校入学を見すえ、年長1年間は「入学準備プログラム」として、ワーク学習と実体験の両輪で入学準備を応援します。ワーク教材では、小学校での学習につながる問題を出題。体験型教材では、毎月のテーマを掘り下げ、小学校の学習につながる興味や考える姿勢を育てます。

年長では、小学校への入学準備をワーク学習と実体験の両輪でしっかりサポート。『かんがえるちからワーク』では、小学校入学につながる国語・算数の学習はもちろん、自然や表現、生活、論理といった幅広い領域を網羅し、バランスよく基礎学力を育みます。『ぺあぜっと』では、年長ならではの抽象度の高いテーマの体験で、五感を使いながらさまざまな視点からものごとをとらえる力と、思考力を養います。

入学準備プログラム

4~9月 入学準備プレステージ

10~12月 入学準備本格ステージ

1~3月 入学準備完璧ステージ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
自然・環境	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る							
表現・身体活動	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る							
ことば	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る							
数・形・論理	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る							
生活・自立	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る							

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ことば	ひらがなやかたかなの 学びだけでなく、語彙 を増やし、文章を読み 取る力を育てます。	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る
数・形・論理	たし算やひき算の基礎、 図形など、小学校につな がる学習をします。	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る
生活・自立	身近な現象を科学的に考えた り、地域社会へ目を向けたりし ます。自己表現を楽しむ問題も 出題します。	「はる」 季節の変化を感じる	「くうき」 パラシュートで空気遊び	「みず」 水を使った科学遊び	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「せかい」 世界に目を向けるきっかけに	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る	「おこめ」 お米ができるまでを知る

※ここで紹介しているのは、取り組み課題の一部です。年間テーマ内容は変更する場合があります。

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

抽象度の高いテーマにも挑戦し、教科学習につながる探求心を養う

ぺあぜっと

年長

小学校入学後に伸びるための準備、それは幼児期の今しかできない五感を使った学びをたくさんしておくこと。
『ぺあぜっと』では、年長児の発達段階にあわせて毎月1~2つのテーマを設定し、
五感を使いながらさまざまな視点からテーマをとらえ、広く深く考える姿勢を育みます。

たとえば 6月号では「くうき」をテーマに多角的に学びます

自然・環境



「ふくぶく あわあそび」

テーマの存在を認知し、好奇心を引き出す。

年長では抽象度の高いテーマを扱うため、まずはテーマとなっているものの存在そのものを知り、好奇心を引き出すところからスタート。6月号では、目に見えない空気の状態を体感することで、科学的な好奇心を引き出します。

自然・環境



「くうきを つかまえる」

連載ページ

テーマ別体験とは別に、小学校の国語と算数につながる「ことば」「数・形」、総合的な学習につながる「食育」の3分野を独立した連載ページとして設けています。

※「ことば」「数・形」は4~12月号掲載

数・形・論理

表現・身体活動



4月号「じかんに なったよ」

☆
☆

月10回

取り組み時間... 1回 10分~1時間



☆
☆

生活・自立

自然・環境



「くうきくん だいかつやく」

生活の中での活用例を知る

テーマに関連する知識を誌面で紹介。6月号の「くうき」では、弾力性や水よりも軽いといった空気の性質が、さまざまなものに利用されていることを知り、学びを広げます。

遊びをとおして性質を体感

五感を使った体験をとおしてより深い理解をうながします。6月号では、空気の力を使った的当てゲームや、空気抵抗によってゆっくり落ちるパラシュートで遊びながら空気の性質を体感します。

自然

表現・身体活動



「パラシュートで あそぼう」

扱うテーマはいろいろ!

- みず ●まち ●せかい ●じかん など

各月のテーマはP44~45をご覧ください。

小学校生活の準備をサポートする体験課題も!

ゲーム感覚で時間内に着替える練習!



3月号「へんしん! たいいくマン」

気をつけるポイントを確認しながら
小学校までの道のりをチェック!



3月号「がっこうウォークラリー」

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

かんがえるちからワーク

年長

小学校に入学してから授業にスムーズに参加できるように、ことばや数、時計などの基礎をしっかり身につけられるカリキュラム。また、思考力を養う問題や自然・生活などの多彩な内容を出題。多方面への興味を伸ばし、学力の基礎を身につけます。毎月、入学準備問題も掲載。

ことば

文字やことばに多くふれ、「はなす」「きく」「かく」「よむ」力の土台をつくる。



お話を作りことばで表現する

絵を見て並べる順番を考え、その順番に沿ってお話を作ります。考えたことをまとめ、話すことで、ことばによる表現力を高めます。

長い文章を読み、正しく読みとる

長い文章を声に出して読む、内容を正しく理解する、自分の考えを話すなど、国語の授業を意識した問題で、入学後スムーズに学習を進めることができます。



入学準備問題

とけい

さまざまなアプローチで時計の理解を深める



時計型教具「チョウタとタンタのなかよしどけい」

長針を動かすと短針も連動して動くことや、右回りにしか回らないことを実際に体感することで、時計の理解をうながします。

「なかよしどけい」と連動した教材で、より理解を深める

「なかよしどけい」を使いながらワークや絵本で学習。時計を動かしながら学ぶことで、より理解が深まります。



かず

少しずつステップアップし、たし算・ひき算の基礎を身につける。



10までの数の合成・分解

計算の基礎となる合成・分解を、段階的に学習していきます。

たし算・ひき算の考え方

イラストを用いた問題で、たし算・ひき算の考え方を学びます。



たし算・ひき算の式の立て方・計算

たし算・ひき算の式の立て方を学び、計算に挑戦します。



入学準備問題



月48回

※月によって回数ですが総ページ数は変わりません。

取り組み時間... 1回 5~10分

かんがえるちからワーク



思考力を育む問題も充実!

規則性や情報整理をして答えを導く「論理」や、平面図形・立体図形を扱う「形」など、思考力を養う問題も多数出題。さらに論理的に考え、問題を解決する力(プログラミング的思考)を養う問題を毎月出題します。



10月号 分類する力



4月号 プログラミング的思考

幼児コース
受講者Voice

ページがシンプルだから文章を読んで理解する勉強のスタイルを確立できました。

兵庫県 小学1年生 T・O さんお母様

いろいろな教材のサンプルをやってみました。余計なイラストが多いと、問題文を読まずに取り組んでしまうことに気づきました。Z会のワークは、大きめの文字でわかりやすく問題文が書かれているので、子どもも「ちょっと読んでみようかな」という気になったようです。最初は、問題の意図が自分で読みとれないこともあったのですが、何回もやっていくうちに、子どもが自分で読んで理解できるようになりました。

領域別の出題内容とねらい

※出題内容やねらいは、変更する場合があります。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	ねらい	
ことば	書き	ひらがなのなぞり書き		かたかなのなぞり書き									お手本を見ずにひらがなを書く力を養う。長い文章を読む力を養う。かたかなを読む。同音異義語、慣用語、ことわざなど、さまざまな形でことばに親しむ。	
	語彙	● 同音異義語 ● 反対語 ● 複合動詞 ● ことわざ・慣用語 ● 擬音語・擬態語など												
数	数字	数字の順番(1~50)												1~10の数の大小比較をする。10までの数を合わせたり、分けたりする。順序数を用いて、平面上の位置を表現する方法を学ぶ。何時・何時半の時計を読む。
	数の概念	数の多少の比較(1~10)		数字の大小比較(1~10)			0の概念							
		数の合成・分解(1~10)			たし算・ひき算の基礎									
	時計	同じ時刻の時計		時刻の読み取り(〇時)		時刻の読み取り(〇時・〇時半)				時間計算				
形	● 平面図形 ● 立体図形 ● 立体の個数 ● 高低の比較 など												四角・三角など基本図形の特徴を考える。立体図形の特徴を捉える。回転したり、複数の図形を組み合わせたあとの形を考える。	
論理	● 規則性 ● お話の順番を考える ● 推移関係 ● 仲間分け ● 暗号ゲーム ● 情報整理 ● 迷路 ● プログラミング的思考 など												原因と結果の関係がわかる。条件を元に、見通しを立てる。	
自然	● 生命(生き物、植物、人体) ● 地球(気象、天体、季節) ● エネルギー・物質(磁石、ゴム、空気、水、重さ) など												身近な現象について科学的に考える経験を積む。気象、天体、季節の変化に関心をもつ。身近な生物についての理解を深める。	
生活	● 健康 ● 安全・道徳 ● 食(食材、調理、食生活) ● 暮らし(年中行事、地域、職業) ● 小学校 など												食材や料理、調理法に関心をもつ。家の中や外の仕事に関心をもつ。交通ルール、公共の場でのマナーがわかる。自分の体・健康に関心をもつ。	
表現	● 課題描画												表現する楽しみを知る。	

入学準備プログラム

	入学準備プレステージ	入学準備本格ステージ	入学準備完璧ステージ	
算数	数の合成・分解		たし算・ひき算、平面図形	
国語	文法の基礎		助詞、長音 文の構成 拗音・促音 文章読解	
思考力	論理的判断力、情報整理力 など			

かんがえるちからワーク デジタルプラス 年長

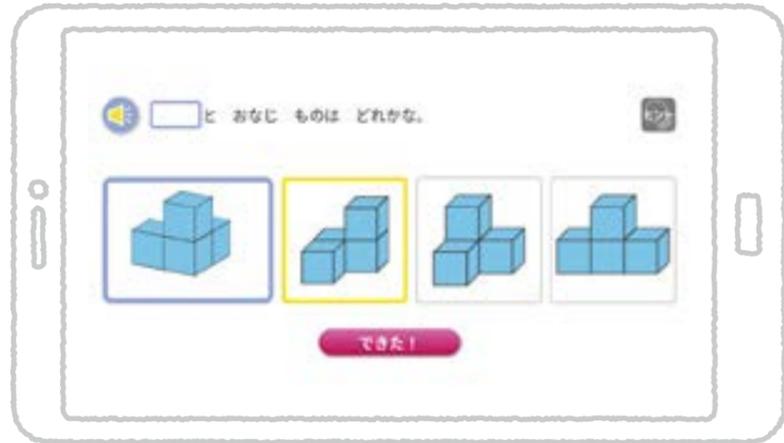
デジタル教材ならではの、音声や動画を使った問題に挑戦。
『かんがえるちからワーク』とあわせて取り組むことで、
「考える力」を多角的に養います。

年5回 配信

取り組み時間の目安
1回 10～15分

お手持ちの
スマホ・タブレットで

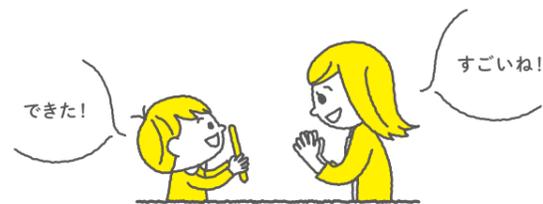
※動作環境等の詳細については、<https://www.zkai.co.jp/pre/requirements/>にてご確認ください。



※画像は開発中のものです。内容やデザインは変更になることがあります。

動画や音声を使った 多彩な出題で 楽しみながら学習

お話をよく聞いて答える問題や、動画を見て推理する問題など、デジタルだからこそできる問題を多数出題。『かんがえるちからワーク』とあわせて取り組むことで、さまざまな「考える」体験をし、「考える力」を楽しみながら多角的に養うことができます。



1つのテーマに集中して取り組み、 考える力を養う

「かんがえるちからワーク デジタルプラス」では「知識を活用して考える問題」に特化。「正しく捉える力」「試行錯誤する力」「推理する力」「論理的に判断する力」の4つの力に焦点をあて、配信回ごとに1つの力を重点的に学習することで、知識を活用して答えを出す力を身につけます。

正しく
捉える力

試行錯誤
する力

推理する力

論理的に
判断する力

●おためし問題に取り組めます

<https://service.zkai.co.jp/ad/pre/try/index.html>



きいてわくわく えいごパーク 年長

画面をタッチして音声をきく中で、自然と英語の音に
親しみ、英語を「楽しい!」と思う気持ちを育てます。

年4回 配信

取り組み時間の目安
1回 10～15分

お手持ちの
スマホ・タブレットで

※動作環境等の詳細については、<https://www.zkai.co.jp/pre/requirements/>にてご確認ください。

Z-KAI Group × 英検 Jr.

※「きいてわくわく えいごパーク Z会グループ × 英検 Jr.」は、Z会グループが、公益財団法人日本英語検定協会公式のサービスである「英検 Jr. オンライン版」のラーニングコンテンツの一部を、編集し提供するサービスです。 ※英検 Jr.®は、公益財団法人日本英語検定協会の登録商標です。

成長とともに 新しい世界を広げる英語学習

英語の学習開始も低年齢化が進んでいます。日本語をしっかりと磨いてから、と構える必要はありません。英語にふれることは、お子さまの興味を広げ、世界に目を向ける機会になります。日本語とは異なるリズムやアクセントをもつことばがあることを知り、「英語は楽しい!」という気持ちを育てていきます。



※内容やデザインは変更になることがあります。

聞いて、話して、 楽しく英語に親しむ

イラストをタッチして英語をきくだけでなく、「かるた」や「もぐらたたき」などのゲームに挑戦するなかで自然と英語に親しめる工夫をしています。子どもたちにとってなじみのある表現を厳選しているので、すぐに声に出して家族に伝えてみたくなるでしょう。

Very good!

two!



年長で扱うテーマ

- 家の中
- 天気と気持ち
- 数
- 文房具

英検 Jr.

とは 子どもの英語能力の調査・研究を目的に、英語に親しみ、外国の文化を理解することを目標として開発された子ども向けのリスニングテストです。

受講者
Voice

●英語に興味をもって発音をまねしていました。ゲームも楽しかったようで何度も繰り返し遊んでいました。

●就学前に、追加費用なく、英語にふれる機会をもつことができてありがたいです。

ぺあぜっとシート

年長

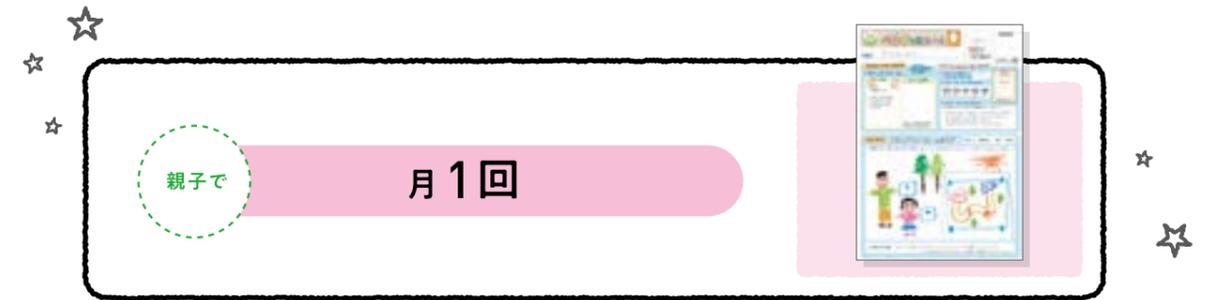
自分の体験をおうちの方と一緒に振り返り、ことばや絵で表していくことで、体験を整理し、表現する力が育ちます。担任指導者からのあたたかいはげましが、お子さまの表現しようという意欲を支えます。



ぺあぜっとシート3つの効果

1 体験を振り返り整理する力がつく

お子さまが見たこと、聞いたこと、体験したことなどを思い出し、ことばや絵におきかえることで、体験を整理し、消化する力を養います。これらは小学校での生活科・理科の観察力、作文力などのベースとなります。



2 体験をことばや絵におきかえる力がつく

話したり絵をかいたりする機会をもつことで、頭の中で蓄積された体験を整理し、ことばや絵におきかえ、表現する力を養います。

3 人に伝えるのが楽しくなる

担任指導者から毎回「おへんじシート」が届くことが励みとなり、自分の体験や考えを人に詳しく伝えようとする姿勢が身につきます。担任指導者は「ぺあぜっとシート」を丁寧に読み取り、お子さまに向けて心を込めたお返事をお届け。表現しようというお子さまの意欲を支えます。



お子さま専属の「担任指導者」によるあたたかいサポート

1年間通して担当する「担任指導者制」

年度末までの1年間、同じ担任指導者がお子さまの「おへんじシート」を担当します。毎月のやり取りの中で、お子さまとのあいだに心の交流が生まれます。

「おへんじシート」はすべて手書き

自分にあてられた手紙は子どもにとって特別なもの。だからZ会は手書きにこだわります。文字への興味強い時期であることを考慮し、字の美しさも重視しています。

お子さまのやる気を応援します!

★ **ポイントをためて、「努力賞」を獲得!**

「ぺあぜっとシート」を1枚提出するごとにたまるポイントを集めて、お子さまの気に入った賞品と交換できる「努力賞」をご用意。「ぺあぜっとシート」提出の動機づけにつながります。

※努力賞ポイントは図書カードまたはnanacoポイントと交換できます。
右記は、専用サイトにてnanacoポイントで購入できる賞品の一例です。
※「nanaco(ナナコ)」は株式会社セブンカードサービスの登録商標です。

幼児コース 受講者Voice

自分の考えや行為を絵で表現しているうちに、真っ白の紙に抵抗なく取り組むように。

東京都 小学1年生 R・Nさん お母様

体験についての絵をかく年長のぺあぜっとシート。最初は体験のなかのフライパン、包丁といった「物」だけの絵でしたが、人が出てきて、包丁で切っていたり、フライパンで炒めたりしている「動作」の絵もか

けるようになっていきました。担任指導の先生にずっと良いところを見つけてもらって自信がついたようで、小学校に入ってからも、紙いっぱいにかけていて上手とほめられていました。

ペあぜっと*アイ*

解説編では既製の付録セットやDVDなどに頼らない、ご家庭での『ペあぜっと』の取り組みをサポート。情報編では専門家へのインタビュー記事やZ会のおすすめる絵本紹介など、子育て期に役立つ情報を毎月、掲載しています。



ペあぜっと*アイ* 解説 学びをより深めるヒントがいっぱい

『ペあぜっと』の取り組みをとおして、子どもがより学びを深めるためのサポート方法をご紹介します。子どもの発見を促すための声かけの仕方や取り組みを盛り上げるヒントなどが満載です。



4月号「たけのこのひみつをさぐれ」解説

Point

『ペあぜっと』の体験課題が、小学校入学以降の学びにどうつながっていくかを示し、学びつづける子どもに寄り添う保護者の方をサポートします。

ペあぜっと*アイ* 情報 幼児期の子育てを多方面から応援!

しつけの仕方や小学校への入学準備など、子育て中は気がかりなことが多いもの。特集ページでは、毎月こうした話題を取り上げ、専門家にインタビュー。子育てのあり方を振り返るきっかけとなるページです。

Point

『ペあぜっと』の取り組みに合う絵本や図鑑をZ会が厳選して紹介する人気コーナー「本のある生活」も毎月掲載。



ペあぜっと*アイ* 解説 「子どもが主役」の体験をサポート

まるごとの素材を五感で感じ、できたものを味わうことのできる食育ページは、『ペあぜっと』で人気の取り組み。「自分でできた!」という達成感が、子どもの自信や挑戦意欲を育みます。『ペあぜっと*アイ*』では、大人が必要以上に手を出すのではなく、「子どもが主役」の体験ができるよう、「教え方」「見守り方」をアドバイスします。



4月号「たけのこのきんぴら」解説



Point

食育は、多くのお子さまにとって初めての体験となる作業がほとんど。そこで、保護者の方からの声かけの仕方を具体的に説明し、安全に、失敗なくできるよう配慮しています。



年長メニュー例

- ごまあえ ●カップケーキ
- お雑煮 ●ちらし寿司 など

人間として生きていける力を育むために

自立して生きる力を身につけるうえで、とくに大事なのが「非認知能力(目標に向かってがんばる力、ほかの人とうまく関わる力など)」を育てることといわれます。「非認知能力」は数がわかる、文字が書けるなどのIQで測れる「認知能力」とは違い、体験をとおして身につけていきます。いつからでも学び始められますが、幼少期の家庭環境での形成が効果的とも考えられています。日常の中で行うことができる料理は立派な体験学習。五感を使った体験をベースに、子どもの生きる力を育てていきましょう。

Z会幼児コース
食育ページ監修者
坂本 佳奈
(さかもとかな)



食育・食文化 料理研究家。幼少のころから食育教育の実践を受けながら育つ。食は人間の基本、食文化は文化の根底を基本理念に、アジアを中心に家庭料理を研究中。修士(生活科学)。

年長

1年間にお届けするアイテム

※特定月の受講特典は、該当月をご受講の方にお届けします。

時計学習の強い味方!

(なかよしどけいセット)

受講者全員に



チョウタとタンタのなかよしどけい& 『はじめてのどけいあそびえほん』

長針を動かすと短針も連動して動く時計型教具絵本のセットです。絵本に合わせて「なかよしどけい」の針を動かすことで、時計の針の動き方への理解が深まり、正時の読みが自然にマスターできます。
※スタートセットでお届け

10月受講特典



『どけいあそびえほん おでかけへん』

物語を楽しく読み進めながら、10分単位の時計の読み方を学ぶきっかけとなる絵本です。

4~6月受講特典



『なかよしどけいワーク』

「なかよしどけい」を活用しながら時間の読み方を学んでいくワークです。実際に手を動かしながら解くことで理解をうながします。

時期に合わせてお届けします!

『ひらがな だいすきワーク 年長』

ひらがなを楽しみながら書ける工夫がいっぱいのワークです。ひらがなの清音だけでなく、濁音・半濁音・かたかなも扱います。

4~6月受講特典



せいかたちはっけん! ミニちきゅうぎ

世界の地形がわかるビニール製の地球儀。「世界」に目を向けるきっかけを作ります。

12月受講特典



むしのへんしんずかんつき 『あおむしくんのへんしん』

虫の変身=幼虫と成虫の姿の違いに注目したお話とミニ図鑑がついた絵本。虫の生態のおもしろさを発見し、虫への興味を引き出します。

7月受講特典



どうさかるた

動作を表すことばの読み札と絵札を合わせて遊び、動詞の語彙力を養うかるたです。

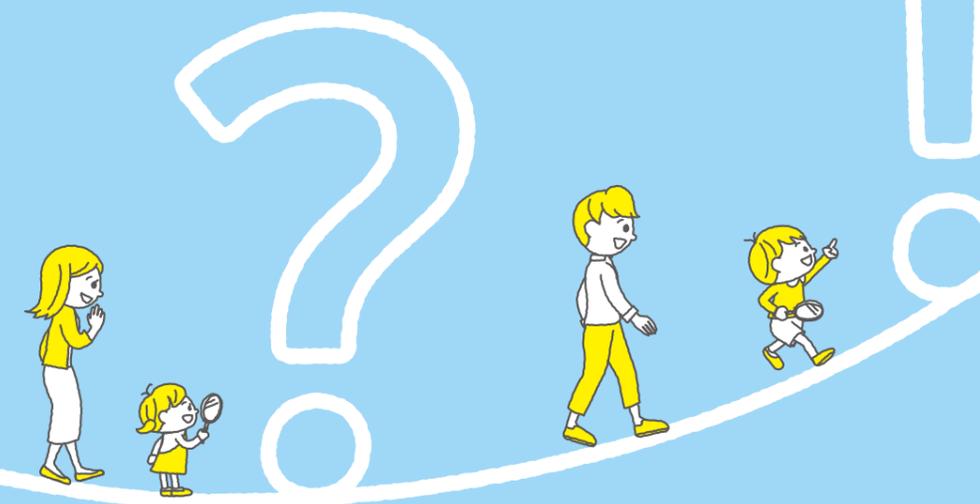
2月受講特典



＼Z会員に聞きました／

Z会、始めてみてどうですか?

Z会は、教材の一部を親子一緒に取り組むという点が大きな特長です。それだけに、「毎日忙しくて、時間が取れるのかしら?」「実際、どんなふうに取り組んでいるの?」。そんな不安を感じる方もいらっしゃるでしょう。そこで、それぞれのやり方、それぞれのペースでZ会のある暮らしを楽しんでいただいているご家族の声をご紹介します。Z会の活用方法は十人十色。ぜひ、参考にしてみてください。



Z会、始めてみてどうですか？

それぞれのやり方、それぞれのペースでZ会のある暮らしを楽しんでいただいている先輩Z会員の声やメッセージをご紹介します。ぜひ参考にしてみてください。

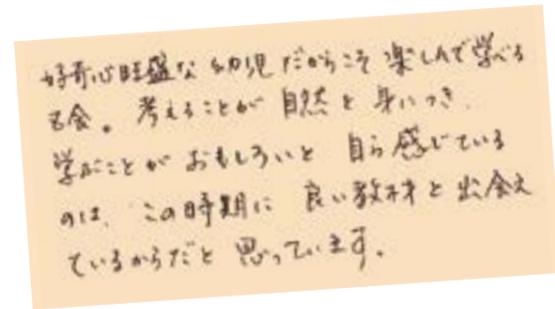
※取材・アンケート当時の学年で掲載しています。

子どもがこう伸びました！

好奇心、興味・関心が広がっています

『ペ』あぜっと』での体験をきっかけに、野の花にまで目を向けるようになりました。徒歩での登園の道すがら、ホトケノザ、カラスノエンドウなどいろいろな花の名前を教えてください。(年長・Oさん)

『小』学生の兄が学校でやることと同じ内容が『ペあぜっと』にもあり、それを幼児のうちに季節に合わせて楽しみながら自然に学習できるようにしているんだと感心しています。(年長・Tさん)



『ペ』あぜっと』年少で月の観察をして以来、夜空を見上げ、月の形を覚えてくれるようになりました。(年長・Kさん)



『わが子を信じて、今しか出来ない事をたっぷりさせて、生きる力を育てていきたいと思います。』

親子の時間が充実しました

小学生になると、想像以上に親子の時間が減り、子どもの成長を感じると共に寂しく思うことも増えました。入学前に親子の時間を存分に楽しんで下さい！

(小1・Nさん)

『考』える力の素地を養いたくてZ会を選んだのですが、体験には思わぬ効果がありました。意識しないと、つい日々の忙しさに流されて、一緒に何かに取り組むことが案外なくなるので、親子の良い時間をもてよかったです。(小1・Oさん)

『この時期の子は、びくびくするくらい力をもちます!! だからこそ、懐の深い(お母さん)親子の体験をもつて下さい!!』

机に向かう習慣ができました

『幼』児が取り組みやすい内容で「できた!」と自信になっています。「自分でやりたい」という気持ちになるようで、勉強というよりは遊びの延長で机に向かっています。理解するのが難しいときは、少し手助けをするようにしています。(年長・Mさん)

『勉強する!!』というFリは、楽しいからやるのか? という質問に「取組む内容に気がつく。親子共に成長と喜びを感じたい」と答えています。

『か』んがえるちからワーク』は内容も楽しく、分量もちょうどいいので、ひとりで机に向かう練習になっています。学ぶことが大好き、楽しい、と思ってくれているのは、親として心から喜ばしいことです。(年長・Iさん)

『年少からZ会をやり始め、毎月郵便が届くのが楽しみにしています。幼い我が子に、自ら進んで机に向かう姿を見ると、本当に始めて良かったなと心から思います。学ぶ楽しさを知るきっかけ作りには、是非おすすめですよ!』

小学校に入って、「あと伸び」を実感しています

『幼』児コースの学びをとおして、物事の見方、考え方の多様性が身についたのではないかと思います。決められた課題をこなすだけでなく、考える力の育成に役立ったと感じています。(小1・Sさん)

『今』でもものづくりや人を喜ばせることが大好きです。「あと伸び」って本当なんだと痛感しています。私一人ではあの体験をさせてあげることはできませんでした。本当に感謝しています。(小6・Mさん)



『学』習習慣がついたことが一番の効果だと思っています。身近な素材のしくみや役割を考えるなど、『ペあぜっと』の体験は自由研究のもとになっていますし、自分で考える力を養うために役に立っています。(小1・Nさん)

『ペ』あぜっと』の体験学習は、「勉強は楽しいもの」というメッセージになっていて、今後もずっと影響があると思います。毎日の学習習慣がついているので、学校の宿題を自分でこなすということも問題なくできています。(小1・Oさん)



教材のココがいい!

絵本好きになりました

『保』護者向け情報誌に毎月、おすすめ絵本紹介があるので助かっています。『ペあぜっと』で体験した課題にまつわる絵本も紹介されているので、子どもが興味をもちやすいです。自分では選ばなかった絵本も多く、幅が広がってよいと思います。(年長・Oさん)

『い』っしょにおでかけブック』*を気に入っていて、親子で何回も読んでいました。『ペあぜっと』で紹介されていた絵本もできる限り読むように心がけ、入学までに読み聞かせた本は1500冊を超えました。今も本が大好きです。(小2・Sさん)



※『いっしょにおでかけブック』は年少のみです。

「ペあぜっとシート」*気に入っています

『自』分宛てに手紙が来るのがとてもうれしいようで、モチベーションアップの効果がありました。(小1・Nさん)

『子』どもが書いたことを、担任指導の先生が上手に拾って表現してくださるので、毎回うれしそうでした。絵をかくことへの苦手意識も少しずつなくなっていったようです。親も一緒に取り組むことで子どもの考えていること、感じていることを知ることができたので、良かったです。(小1・Sさん)

※『ペあぜっとシート』は年中・年長のみです。

食育体験のおかげで……

『簡』単にできて、達成感が得られるので子どもが料理好きになりました。よく手伝いもしてくれるようになり、お米は一人で炊いてくれます。(年長・Kさん)

『毎』月どんな料理が載っているのかをとても楽しみにしています。材料の調達もなるべく(親は店の前で待機して)自分でさせるようにしており、それを自分で料理するので、苦手な野菜も食べられるようになりました。(年長・Oさん)

『毎』月子どもだけでもできる料理に取り組んでいたおかげで、コロナ禍の休校中は昼・夕飯のおかずを作ってくれました。(小1・Kさん)



入会前の不安、意外と大丈夫でした!

Z会は難しいのでは と思ったが……

Z 会は難しいというイメージがありましたが、受講してみると量的にも内容的にも無理なく続けられました。Z会を嫌がることも一度もありませんでした。(小1・Nさん)



勉 強を嫌いにはなっていたので、子どもが楽しんでできるということが教材選びのポイントでした。難し過ぎず、スラスラとできる難易度がちょうどよかったようで、机に向かうことがだんだんと習慣になってきました。子どものほうから「勉強しよう」と言ってくることも。副教材の「にこにこ ひらがなひょう」は、覚えた文字にシールを貼ることが達成感につながって、意欲的に覚えることができました。(埼玉県 年中 K・Mさん お母様)



体験は準備が大変なのでは と思ったが……

『ペ』 あげっと』は届いたらその月の取り組み内容と必要なものをざっと確認します。基本的には家にあるものを利用できる取り組みが多いですが、ほかに必要なものがある場合は頭に置いておいて、少しずつ準備しています。五感を使って何かをする体験がよいことはわかっていますが、題材がないとなかなかできないのですが、『ペあげっと』では、公園での取り組みや家にあるものを使った工作などのテーマを用意してくれるので、とても取り組みやすいです。(東京都 小学1年生 R・Nさん お母様)



家 にある材料で取り組めることが多く助かっています。実体験があると「見たことある」「やったことある」という記憶として残るので、大切なことだと思います。親としては時に「ちょっと面倒だな」と思う課題もありますが、そういう課題ほど子どもは楽しそうに取り組み、覚えているなという印象です。(年長・Tさん)



身 近な植物などで実験できるものもあり、準備に時間がかからないのがよかったです。家の中・外や雨の日・晴れの日それぞれでどちらも楽しめるバランスが良いです。(年長・Iさん)

ふ だんから家やスーパーなどで見かけているものを使った、思いもよらない取り組みをすることができ、親も「へえー」と思いました。(小1・Kさん)



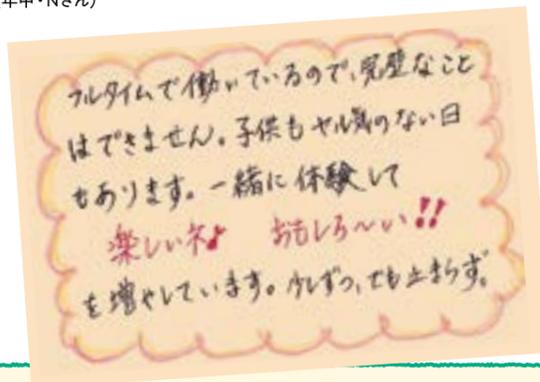
共働きでやりきれないか と思ったが……

『ペ』 あげっと』は、意外と保育園の帰りの道端や買い物ついでなどにさっと取り組める課題もあったので、すべてを休日に回さなくてもよかったです。(年長・Mさん)

共 働きなので『ペあげっと』の時間が取れるか不安でしたが、どれも幼児の集中が続く程度の時間でできるようになっていたので、全部こなすことができました。(小1・Kさん)



ワ ークは園から帰ってから、『ペあげっと』は週末と決めていました。平日は就寝までの時間も限られているので、子どもが好きなページや取り組みせよというところを先に決めて、そこを開いて置いておきました。(年中・Nさん)



疑問・質問にお答えします

幼児コース

Q & A

- 教材について
- 取り組み方について
- お手続きについて

教材について

Q Z会幼児コースは、ほかの通信教育とどこが違いますか?

A 知識を身につけるだけの受け身の学習ではなく、「実体験」と「ワーク学習」の両輪で将来の学力の基礎となる「あと伸び力」を身につけます。

体験型教材とワーク教材の両輪で学ぶことが、Z会の大きな特長です。体験型教材では、実際に野外で五感を使って体験したり、身近な素材で工夫してものを作ったりと、子どもが自分で考えるきっかけが詰まった実体験を重視しています。ワーク教材では、文字練習や計算にとどまらず、様々な観点から思考力を養います。一筋縄では解けない問題もあり、考えて解けた!という経験が、さらなる学ぶ意欲を引きだします。この両輪こそが、将来の学びにつながる土台を育みます。

Voice

お ためし教材では、ワークのテーマがバランスよく、難易度も合っているのを実感しました。意外だったのが、『ペあげっと』をやったときの子どもの反応がすごくよかったこと。科学的なことを体験してみるの、子どもの好奇心をくすぐったみたいですね。ワーク学習や図鑑を眺めているのとは違う刺激が得られそうだと感じ、受講を決めました。(東京都 小学1年生 M・Hさん ご両親)

Q 市販のワークに比べて割高では?

A 幼児期に身につけたい5つの領域「ことば」「数・形・論理」「自然・環境」「生活・自立」「表現・身体活動」をバランスよく学べます。何冊も買う必要がなく、おトクです。

市販のワークは、同じ領域の問題を繰り返し数多く解くものが多いです。また、購入の際にはおうちのかたがお子さまの発達にあった内容かを判断する必要があります。Z会なら、毎月、季節や年齢(学年)ごとの発達段階にあわせたワーク教材を体験型教材などとセットでお届け。5つの領域を網羅しているので、飽きてしまうこともなく、足りないものを買い足す必要がありません。

Q ひらがなが読めなくても受講できますか?教材の中では、文字の読み書きはどの程度扱いますか?

A ひらがなが読めなくても、親子で一緒に取り組んでいただければ問題ありません。

年少 親子で一緒に読みながら取り組む前提で教材が作られており、ひらがなの読みについては、教材の中で毎月重点的に学習していきますので、ご心配は不要です。なお、書く練習としては運筆(線を書く練習)が中心となりますが、一部のひらがなを書く練習もします。

年中 親子で一緒に読みながら取り組む前提で教材が作られていますので、ひらがなが読めなくてもご心配は不要です。教材には、音読など読みの習熟につながる課題が含まれます。ひらがなを書く練習はとくに重点的に扱います。

年長 ひらがなが読めることが前提で作られていますが、おうちの方のサポートがあれば読めなくても取り組むことは可能です。教材には、年中同様、読みの習熟につながる課題が含まれます。書く練習としては、ひらがなのなぞり書き、何も見ないで書くこと、かたかなのなぞり書きを扱います。

Q 年度途中から受講しても大丈夫?

A 問題ありません。

『べあぜっと』では、毎月、「自然」「生活」など幅広い体験課題に取り組んでいきますが、季節などを考慮しその時期のお子さまが関心をもちやすい内容を選んで掲載しています。前月まで受講されていなくてもまったく問題なく取り組みます。

『かんがえるちからワーク』には、ことば・数など徐々にレベルが上がるような設定のものもありますが、年齢(学年)ごとの発達段階に合わせて作成していますので、これまでの教材を学習していないと取り組めないということはありません。ご安心ください。

Q 毎月の教材に、知育玩具やDVDはつきますか?

A 知育玩具やDVDはありませんが、付録がある月もあります。

たとえば、『べあぜっと』の課題に必要なカードなどは付録としてお届けします。『べあぜっと』では、遊び方が限定される知育玩具や受け身になりがちなDVDを使った学びではなく、身近な素材で工夫したり、五感を使って発見したりと、子どもが自分で考えるきっかけの詰まった実体験を重視しています。

Q Z会幼児コースは小学校受験に役立ちますか?

A 小学校受験対応ではありませんが、総合的な学力の土台を身につけていきますので、役立つ面はあると考えられます。

Z会幼児コースの教材は、小学校受験対策を目的に作られた教材ではありません。ただし、小学校受験では生活力(家庭生活にどれだけかかわっているか)・社会性・創造力・話を聞く力などが総合的に問われますので、そういった力を身につけるのに役立つ面はあると考えています。

Q ひとつ上の年齢(学年)のコースを受講することはできますか?

A 受講は可能ですが、発達段階を考慮して作られた教材ですので、基本的には年齢(学年)に合わせることをおすすめしています。

いずれの場合も、ご受講を検討されている学年の「おためし教材」をご請求いただき、内容をご確認いただきからお申し込みいただくことをおすすめします。

取り組み方について

Q 毎月やりきれれるでしょうか?

A 無理に全て取り組まなくても大丈夫です。

お子さまの興味はそれぞれなので多様な取り組みをご用意しています。お子さまが興味をもったページから優先的に取り組んでみてください。『べあぜっと』や『かんがえるちからワーク』は、必ずしも全部取り組まなくても、十分にお子さまの知的好奇心を満たす経験ができます。1回5~10分と短時間でできる『かんがえるちからワーク』は平日に、実体験が中心となる『べあぜっと』はおうちの方の休みの日に、親子遊びの時間のつもりで取り組んでいただくと無理がありません。

Voice

習 仕事を週3日やっているので、Z会のワークは平日はやらずに週末にまとめて取り組み、1カ月で終わらせるようにしています。シールや絵をかく課題もあり、何間か続けて取り組んでも飽きずにできるのがよいですね。『べあぜっと』は、教材が届いたらざっと見て、10分くらいで終わるようなものは平日に、時間のかかりそうなものは父親が休みの日に、タイミングを合わせてやっています。父親が子どもとゆっくりと過ごせるのは休日だけなので、一緒に体験することで子どもの成長を実感する機会になっています。

(大阪府 年長 K・Mさん お母様)

Q 保護者のサポートはどの程度必要ですか?

A 『べあぜっと』は準備から、『かんがえるちからワーク』は様子を見て、適宜サポートをお願いします。

『べあぜっと』は、親子で一緒に読みながら取り組む前提で作られています。食育・工作などの課題では材料の準備や作業そのもののサポートも必要になります。『かんがえるちからワーク』は、年少では親子で取り組むことを前提としていますが、年中以降では、問題文のひらがなが読めるようになったら、お子さまひとりでも取り組むことができます。ただし、お子さまが問題の形式にとまどってしまう場合には、何をすればいいかを

うちの方から説明してあげてください。繰り返し取り組んでいくことで慣れ、ひとりで取り組める部分が少しずつ増えていきます。

さらに、年中・年長では、提出課題「べあぜっとシート」に、親子で話し、その内容を書き留めていただく欄があります。おうちの方のこうしたサポートを通じて行われる(対話)の積み重ねが、お子さまの豊かな学びにつながります。

Voice

ワ ーク学習は楽しく取り組める工夫がされているので、子どもが自発的にでき、親がつきっきりで見る必要はありません。『べあぜっと』は親子で取り組むということがむしろプラスだと思っています。共働きで子どもも習い事をしているので、意識して時間をとらないと、親子でふれ合う時間が少なくながちです。でも、『べあぜっと』と一緒に取り組むことで会話が増え、親子の時間が充実しています。『べあぜっと』に書いてある声かけや教え方のアドバイスも、学びを深める参考になっています。

(神奈川県 年長 R・Kさん ご両親)

Q きょうだいがいるのですが、Z会の時間を取れるでしょうか?

A < 下にぎょうだいがいらっしゃる場合 > 下のお子さまのお昼寝の間などに、『かんがえるちからワーク』に取り組んではいかがでしょうか。1回5~10分と負担も少なく、親子で話しながら楽しくできます。

Voice

下 に弟がいるので、弟の昼寝中か、夜寝てから親と二人きり(もしくは両親と)でしています。学習時間=親を独り占めできる時間となっているので、いつも「やりたい! やりたい!」と言っています。弟と一緒にうっかり寝てしまったときは翌朝悔しがっています。(年中Nさん)

< 上にぎょうだいがいらっしゃる場合 >

上のお子さまの宿題や朝学習の際に、隣で『かんがえるちからワーク』に取り組んではいかがで

しょうか。また、『べあぜっと』の体験は上のお子さまも一緒に参加される、というご家庭も多いようです。

Voice

『べあぜっと』は父親やきょうだいと楽しみながら取り組むことが多かったです。『かんがえるちからワーク』は平日に上の子が宿題をしている横でやっていました。(小1Kさん)

お手続きについて

Q 入会金はかかりますか?

A かかりません。お気軽にご受講ください。

Q 会費の割引はありますか?

A お得な一括払いがあります。詳しくは64ページをご覧ください。

Q 入会するにあたって、何かお得な制度はあるのですか?

A すぐきなプレゼントをお届けする「友人・きょうだい紹介制度」があります。Z会の通信教育の会員の方(お友だち・きょうだい)のご紹介がある場合や、お友だちと一緒にご入会いただく場合、もちろんプレゼントがもらえる「友人・きょうだい紹介制度」があります。ぜひご利用ください。詳細はZ会Webサイトをご覧ください。

Q 海外でも受講できますか?

A はい、受講できます。海外での受講の場合、国内での受講の場合と異なる点がございまして、詳しくはZ会幼児コース海外受講サイトをご確認ください。詳しくは65ページをご覧ください。

入会手続き・会費のご案内

お申し込みの前にご確認ください

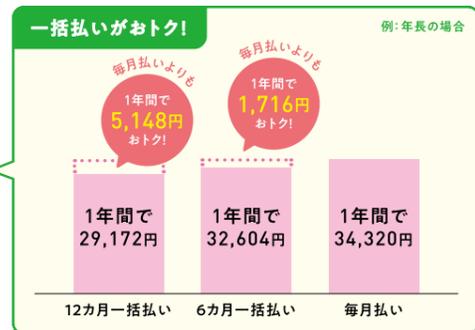
＜Z会の通信教育をご受講するにあたってのルール＞

- 幼児コースは4月開講3月終了のコースです。
- Z会はいつからでも入会できます。 ※お申し込み完了後、間に合う月からのご受講となります。
- 受講途中の変更・中止もできます。 変更・中止の場合、受講会費は精算してお返しいたします。 ※受講期間中に中止される場合、ご連絡をいただいた時点で間に合う月からの手続きとなります。一括払いにて受講会費をご送金済みの場合、解約金額はお申し込みいただいた時点で適用された受講会費に基づき計算し、精算いたします。 ※お支払期限までに受講会費のお支払いがない場合でも、中止のご連絡をいただかない限りキャンセルにはなりませんのでご注意ください。
- Z会は1カ月からでも受講可能です。 ※もし1カ月で中止される場合は、各コースの最終締切日までに、お客さまよりお手続きください。中止のご連絡がない場合は、次月以降も教材をお届けします。 ※開始と同時に中止のお手続きはできません。 ※一括払いを選択し、受講期間中に中止される場合は、受講会費は精算してお返しします。
- 商品の返品は承っておりません。
- Z会の通信教育は自動継続です。 受講終了のご連絡をいただかない限り、大学受験生向けコースのカリキュラム終了月まで継続して教材をお届けします(一部コース・講座を除く)。 ※自動継続にあたっては、Z会推奨の講座・サービスをご提供するため受講講座の追加やサービス形態の変更等が生じる場合があります。 ※受講期間が終了する前に「自動継続のご案内」をお届けしますので、案内にしたがって必ず受講内容をご確認ください。
- 通信教育の利用規約を以下より必ずご確認ください、同意のうえお申し込みください。 なお、本利用規約はお客様の受講契約の内容となります。 <https://www.zkai.co.jp/z-app/rule-tsuushinkyuiku/>

会費のご案内

本会費表は、2021年度の最終月の手続き締切日(Z会必着)まで有効です。 ※会費に記載の金額には、消費税が含まれております。下記は、消費税率10%の下での会費です。 ※会費の払込手数料、Z会に答案を提出する際の郵送料・webサービス提供に伴う通信費は含まれておりません。 ※12カ月一括払い、6カ月一括払いの金額は、開講月の4日より受講を開始していただいた場合のもので、開講月以外の月から受講開始される場合、会費は変動します。

	12カ月一括払い	15%割引	6カ月一括払い	5%割引	毎月払い
年少	22,440円	1カ月あたり 1,870円	12,540円	1カ月あたり 2,090円	2,200円
年中	26,928円	1カ月あたり 2,244円	15,048円	1カ月あたり 2,508円	2,640円
年長	29,172円	1カ月あたり 2,431円	16,302円	1カ月あたり 2,717円	2,860円



個人情報の取り扱いについて

- 事業者名 株式会社Z会
- 個人情報保護管理者 個人情報保護対策委員会 個人情報保護管理責任者 連絡先:privacy@zkai.co.jp
- 個人情報の利用目的
 - サービス利用のお客様
 - Z会グループ企業(注)の商品・サービス・催事・求人等のご案内 (注)Z会グループ企業の詳細につきましては、こちら(<https://www.zkai.co.jp/home/policy/group/>)をご覧ください。
 - ご契約いただいたお客様に対する、教材発送・答案返送などのご契約内容の履行、お問い合わせ・ご相談への応答、意欲喚起のための活動、ご利用結果の測定、その他附帯サービスの提供。ただし、必要な情報をご登録いただけない場合、一部サービスのご提供ができない場合がございます。
 - 商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
 - 以外のお客様
 - Z会グループ企業の商品・サービス・催事等のご案内、請求資料の送付、お問い合わせ等への対応
 - 商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
 - 添削者 委託業務に関する事務、連絡
 - 採用応募者 採用選考、連絡
 - 従業員情報 勤務管理、人事給与、福利厚生、社会保険、連絡等
- 直接書面以外の方法によって取得した個人情報
 - 受託業務でお預かりした個人情報 受託業務遂行
 - 通話録音情報 通話内容の確認、電話応対の品質向上
- 個人情報の提供について

お客様の個人情報は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者に提供いたしません。また、提供する際にも必要最低限の情報のみを提供します。

 - お客様にてサービスや各種発送物をお届けしたり、ご連絡を差し上げたりするため、社外の協力会社等へ業務を委託する場合
 - お客様の同意がある場合
 - 法令に基づく適正な提供要求があった場合
- 個人情報の委託について
 - 目的でお客様の個人情報を取り扱う業務を協力会社等に委託する場合、委託先の選定基準を満たす業者に委託し、その取り扱い基準を定め、適切な教育・指導・監督を行うとともに、委託業務に関して契約を取り交し、機密保持についても契約に盛り込みます。
- 個人情報の共同利用
 - Z会グループ企業(注)において、個人情報を共同して利用いたします。(注)Z会グループ企業の詳細につきましては、こちら(<https://www.zkai.co.jp/home/policy/group/>)をご覧ください。
 - 共同利用する個人情報の項目 本人氏名、保護者氏名、住所、電話番号、ファックス番号、メールアドレス、生年月日、性別、在学歴、志望校、申込情報、成績情報等
 - 共同利用する者の範囲 Z会グループ企業
 - 利用目的
 - Z会グループ企業の商品・サービス・催事・求人等のご案内
 - ご契約いただいたお客様に対する、ご契約内容の履行、お問い合わせ・ご相談への応答、意欲喚起のための活動、ご利用結果の測定、その他附帯サービスの提供
 - 商品・サービスの開発、改善のための調査・研究(アンケート送付など)
 - 共同利用について責任を有する者の氏名又は名称 株式会社Z会
 - 取得方法 Web・郵送・対面等により、本人から直接書面によって取得 電話等で、本人から直接書面によらない取得
- 個人情報の利用停止、訂正の手続き

お客様からご本人の個人情報について、利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止(開示等とします)のお申し入れがあった場合、以下のとおり対応させていただきます。

※個人情報の漏洩防止のため、個人情報の開示ならびに訂正等のお申し入れを受けた際には本人確認をさせていただきます。ご本人確認ができない場合には、ご要望にお応えできない場合があります。

 - 利用目的の開示、個人情報の開示につきましては、所定の手続きによりお申し出いただくこととなります。その際は、事務に必要な費用をご負担いただくこととなりますので、予めご承知ください。なお、お手続きの詳細につきましては、こちら(<https://www.zkai.co.jp/home/policy/detail/>)をご覧ください。
 - Z会グループからのご案内について、送付停止のご要望をいただいた場合は、ご連絡いただき次第、停止のお手続きの間に合う時点から送付を停止いたします。
 - Z会グループからのご案内の送付停止の手続きは迅速に行いますが、すでに発送準備を終えていた場合、間に合わないことがあります。
 - 個人情報の開示について訂正のご連絡をいただいた場合、所定の手続きによりお受けいたします。
 - 個人情報の開示等のお申し出にお応えできない場合は、理由を明らかにして回答させていただきます。
- 苦情の解決の申し出先 株式会社Z会 個人情報保護担当 E-mail:privacy@zkai.co.jp
- Cookieの使用について

Cookieという技術を使用します。Webサイトと利用者のコンピュータの間で情報をやり取りすることにより、利用者の訪問記録を取得したり、利用者ごとに表示を切り替えたりすることが可能になります。Z会グループのWebサイトでは、CookieをWebサイトの利用状況(訪問回数等)を把握するために使っていますが、Cookieを利用して個人情報の収集は行っていません。

また、Z会グループでは、弊社以外のWebサイトにバナー広告を出すことがあります。その場合は広告を掲出しているWebサイトのCookieのルールに従います。ブラウザの設定を変えてCookieを受け入れないようにしたり、保存されたCookieを削除したりすることができます。
- お預かりする個人情報について

個人情報をお預けいただくかどうかはお客様の任意です。ただし、必要な情報をご登録いただけない場合、一部サービスのご提供できない場合があります。また、Cookieを受け入れない設定にした場合、サービス内容によっては、機能の一部に制限が発生したり、サービスを利用できなくなったりすることがあります。
- お問い合わせ窓口
 - 「個人情報」に関するお問い合わせ窓口 株式会社Z会 個人情報保護担当 E-mail:privacy@zkai.co.jp

お申し込み手順

- ご受講の学年をお選びください。 年少 年中 年長
- 支払方法をお選びください。 支払方法は、以下の3通りです。 ※お申し込み後の支払方法の変更はお受けできませんのでご了承ください。ただし、ご受講期間終了後のご継続の際には、支払方法を変更することができます。
 - 12カ月一括払い 毎月払いの15%割引
 - 6カ月一括払い 毎月払いの5%割引
 - 毎月払い

受講終了月(2022年3月)までの受講期間が12カ月、6カ月に満たない場合でも、お得な一括払いをお選びいただけます。一括払いをお選びいただくと、受講期間が12~7カ月の場合は15%割引になる「12カ月一括払い」の、6~2カ月の場合は5%割引になる「6カ月一括払い」の割引率が適用されます。 ※2021年度のお申し込みは2022年3月までとなります。
- 受講開始月をお選びください。 お申込日によって間に合う月が異なります。詳しくはWebサイトをご確認ください。
- ご入金方法をお選びください。 クレジットカード決済、口座引落、払込用紙でのご送金(ゆうちょ銀行(郵便局)・コンビニエンスストア)のいずれかとなります。
 - ①クレジットカード決済、口座引落は、インターネットからのお申し込みのみ承ります。
 - ※クレジットカード決済、口座引落は手数料無料です。 ※すでに払込用紙をお届けした請求については、クレジットカード決済、口座引落に変更することはできません。
 - ※ご利用いただけるクレジットカード・金融機関はWebサイトにてご確認ください。
- Web、郵便のいずれかの手段でお申し込みください。 お申し込みいただいた段階で、保護者(契約者)の方のご承諾があったものとして承りますので、ご了承ください。
 - Web 下記のZ会幼児Webサイトに、保護者(契約者)の方が案内にしたがって必要事項を入力してください。
 - 郵便 同封の「幼児コース入会申込書」に必要事項(太枠で囲まれた部分)を記入し、保護者(契約者)の方が署名と捺印をしようえて、ご送付ください。

Web 下記のZ会幼児Webサイトに、保護者(契約者)の方が案内にしたがって必要事項を入力してください。

Z会幼児Webサイト

※午前2:00~午前5:00の間はサーバメンテナンス作業のため、サービスの提供を休止いたします。

クレジットカード決済

口座引落(一部の金融機関)

郵便 同封の「幼児コース入会申込書」に必要事項(太枠で囲まれた部分)を記入し、保護者(契約者)の方が署名と捺印をしようえて、ご送付ください。

よくあるご質問・お問い合わせ

Webでのお問い合わせ

Z会幼児Webサイト[お問い合わせ]

よくあるお問い合わせFAQ [24時間受付]

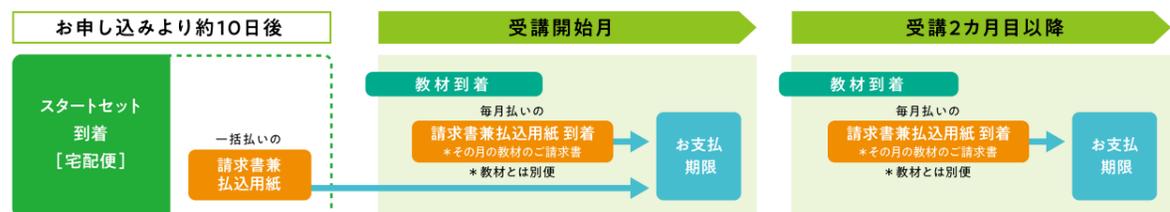
電話でのお問い合わせ

幼児・小学生コースお客様センター お問い合わせ専用フリーダイヤル

0120-79-8739

受付時間: 月曜日~土曜日 午前10:00~午後8:00 (年末年始を除く、祝日も受付)

お申し込み手続き後の発送物



スタートセットと別便で「会員番号のお知らせとパスワード設定方法のご案内」メール(もしくはハガキ)をお送りします。メール(ハガキ)の案内に沿ってパスワードを設定し、会員サイト「Z会MyPage」に必ずログインしてください。お申込内容は「Z会MyPage」にてご確認ください。

※原則として、スタートセットと教材は別便です。 ※毎月払いで振込の方は、払込用紙のみ受講開始月上旬に別途郵送しますので、お支払期限までにご送金ください。 ※お届け方法は変更になる場合があります。

海外受講のご案内

Z会幼児コースは、海外に在住している方も受講可能です。 インターネットからお申し込みください。受講会費などの詳細もご覧いただけます。



日本と同じ、上質な教育を海外で。

年少

年中

年長

Z会員に聞きました

Q & A

入会手続き・会費のご案内

最高の教育で、未来をひらく。

入会手続きは **必ず保護者(契約者)の方がお手続きください。**



Z会 幼児 検索

<https://www.zkai.co.jp/pre/>



切手
不要

「入会申込書」を切り取り、必要事項を記入してポストに投函してください。

ご受講に関するご相談・お問い合わせは

幼児・小学生コースお客様センター

通話料無料

0120-79-8739

受付時間 月曜日～土曜日 午前10:00～午後8:00(年末年始を除く、祝日も受付)

Z会の通信教育には、幼児コースの他に、◎小学生向け、◎中学生向け、◎高校生・大学受験生向け、◎大学生・社会人向けのコースがあります。



株式会社Z会 〒411-0033 静岡県三島市文教町1-9-11 <https://www.zkai.co.jp/>